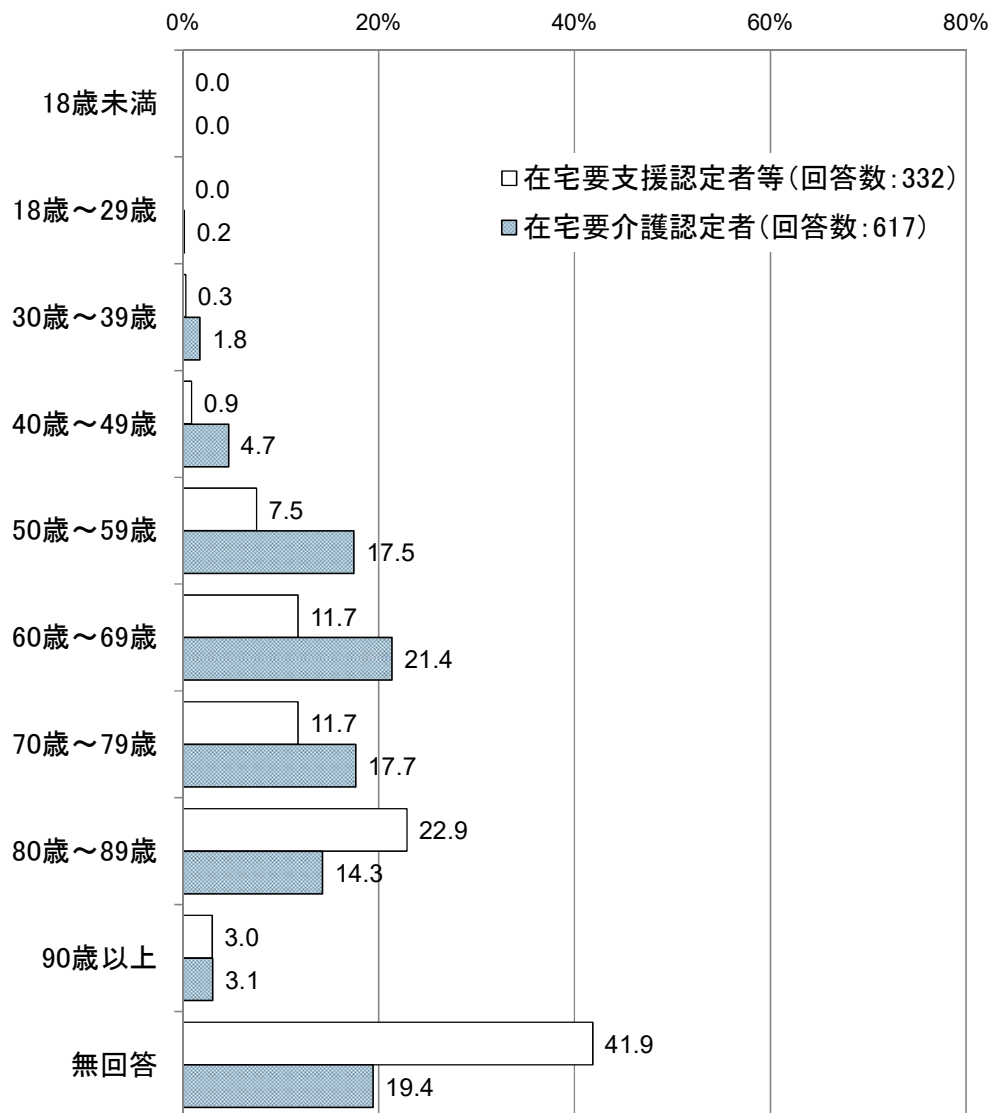


12 主な介護者の方への質問

(在宅要支援認定者等調査では問M、在宅要介護認定者調査では問G)

(1) 介護者の年齢

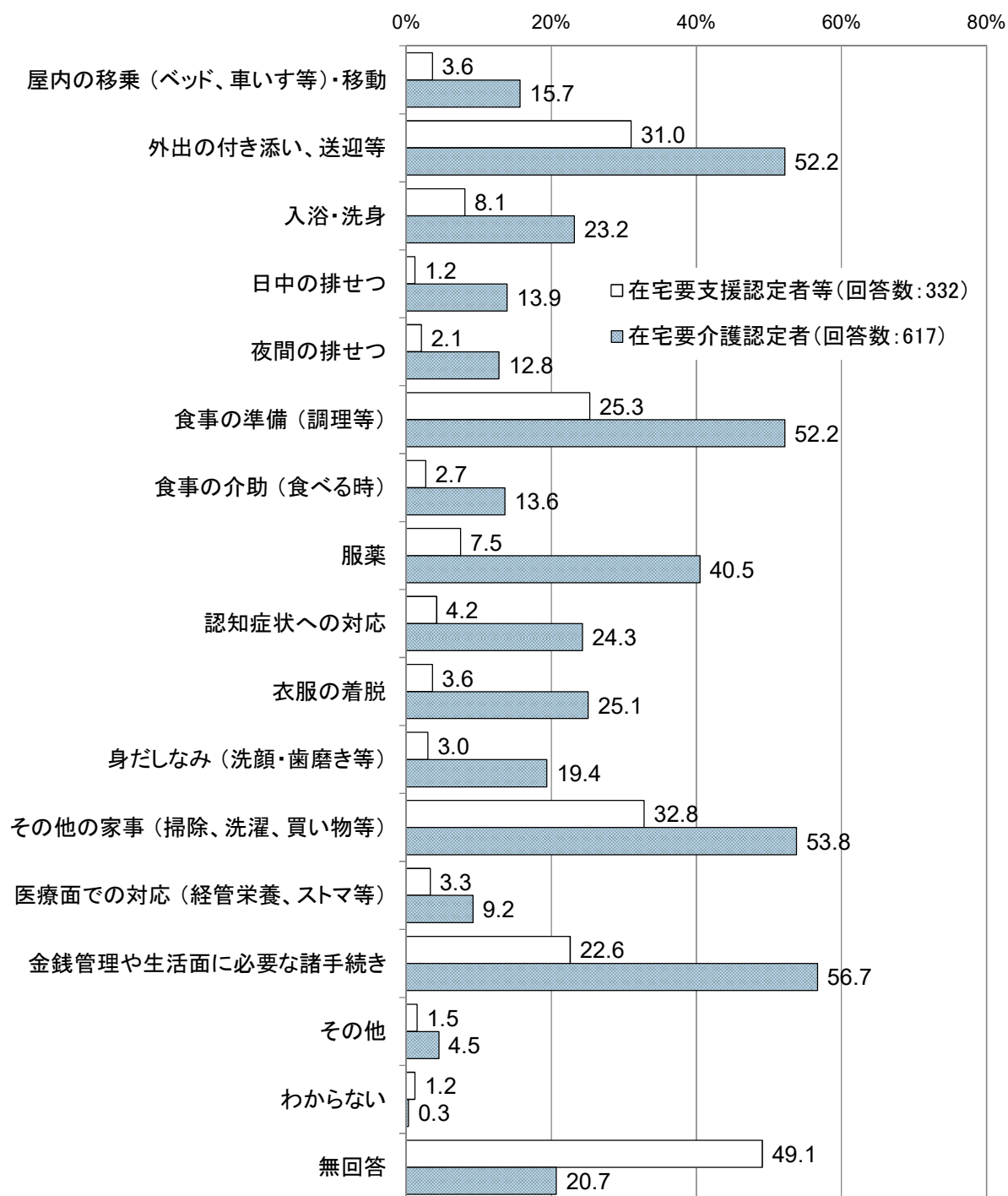
[設問] ①あなたの年齢をお答えください。



○無回答を除き、在宅要支援認定者等では「80～89歳」が22.9%で最も多く、次いで「60～69歳」と「70～79歳」がともに11.7%などとなっている。在宅要介護認定者では「60～69歳」が21.4%で最も多く、次いで「70～79歳」が17.7%などとなっている。

(2) 主な介護者が行っている介護等

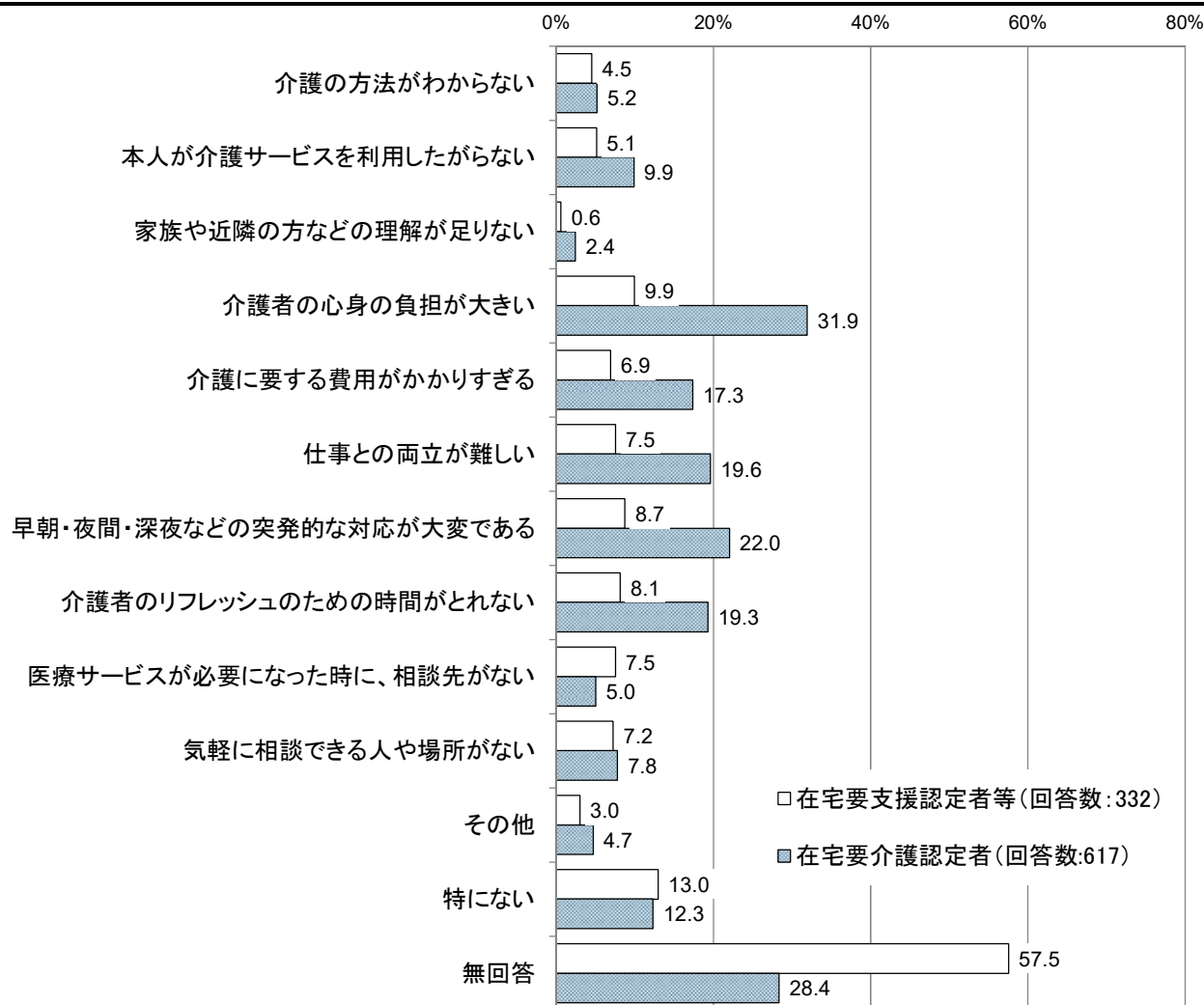
[設問] 現在、主な介護者の方が行っている介護等は、次のどれですか。(〇はいくつでも)



○無回答を除き、在宅要支援認定者等では「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」が 32.8%で最も多く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が 31.0%、「食事の準備(調理等)」が 25.3%などとなっている。在宅要介護認定者では「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 56.7%で最も多く、次いで「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」が 53.8%、「外出の付き添い、送迎等」と「食事の準備(調理等)」が 52.2%などとなっている。また、在宅要介護認定者では「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」「服薬」がそれぞれ56.7%、40.5%で在宅要支援認定者等の22.6%、7.5%と大きな差がある。

(3) 介護を行う上で困っていること

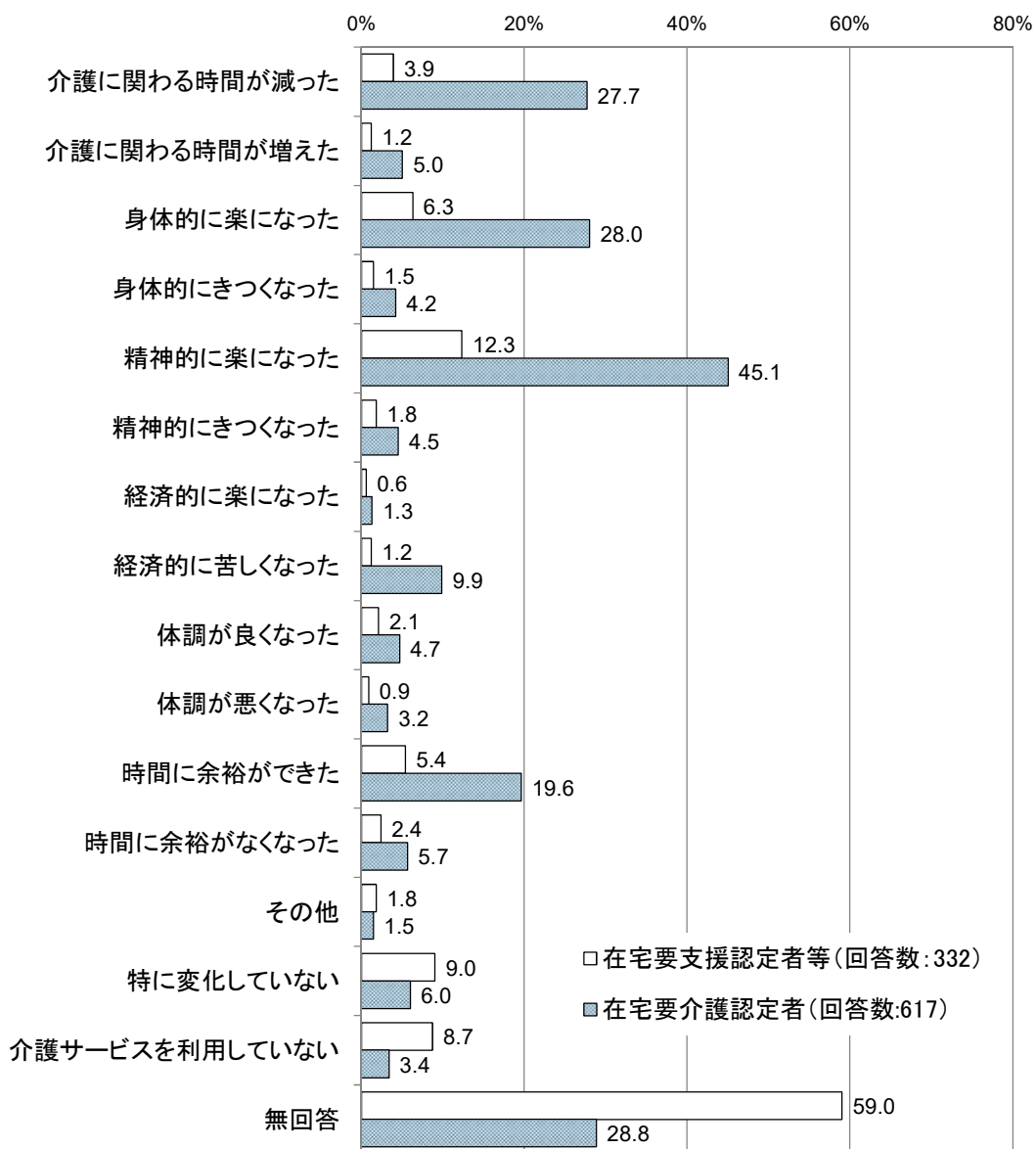
[設問] 介護を行う上で困っていることは何ですか。(〇はいくつでも)



○「無回答」を除き、在宅要支援認定者等では「特にない」が13.0%で最も多く、次いで「介護者の心身の負担が大きい」が9.9%、「早朝・夜間・深夜などの突発的な対応が大変である」が8.7%などとなっている。在宅要介護認定者では「介護者の心身の負担が大きい」が31.9%で最も多く、次いで「早朝・夜間・深夜などの突発的な対応が大変である」が22.0%、「仕事との両立が難しい」が19.6%などとなっている。

(4) 介護サービス利用による介護者の変化

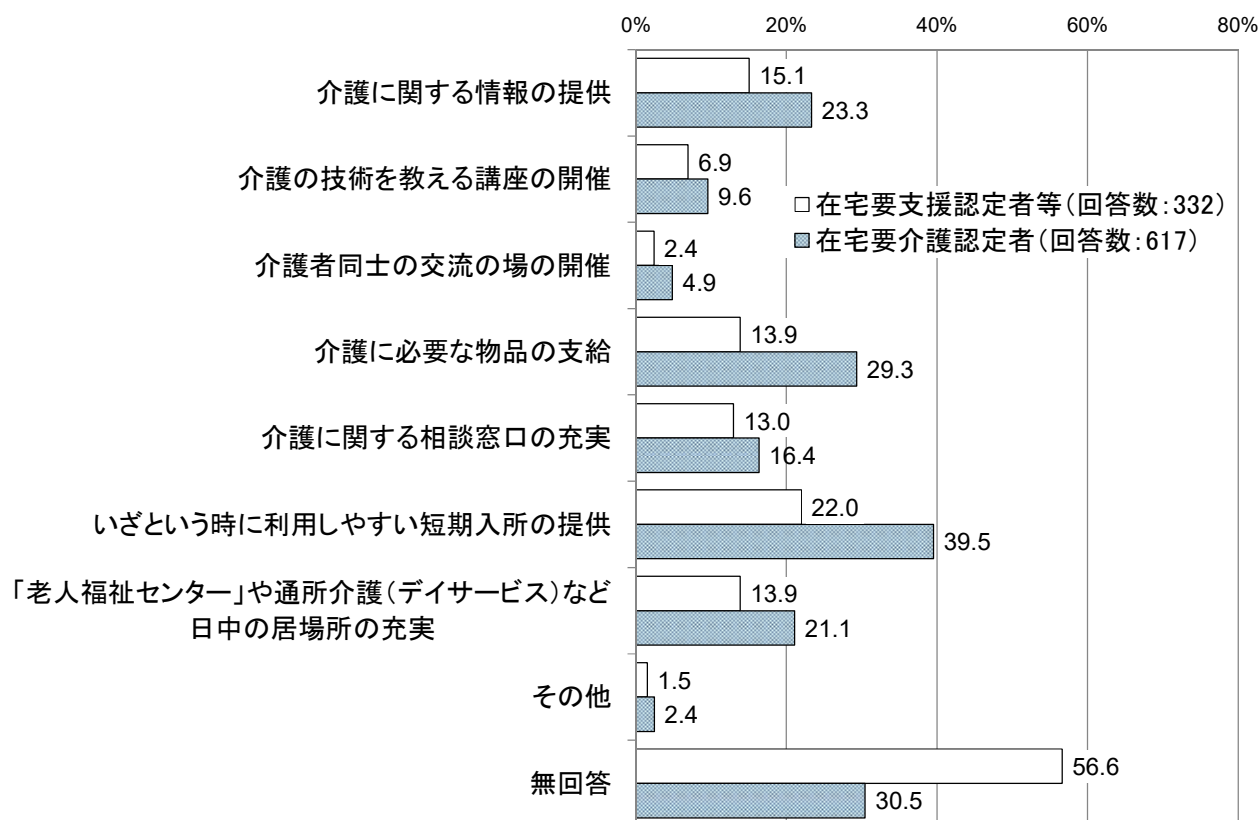
[設問] 介護サービスを利用することによって、介護している方はどのように変化しましたか。(〇はいくつでも)



○無回答を除き、在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者ともに「精神的に楽になった」がそれぞれ 12.3%、45.1%で最も多く、次いで在宅要支援認定者等では「特に変化していない」が 9.0%、在宅要介護認定者では「身体的に楽になった」が 28.0%などとなっている。

(5) 介護者としてあったらいいと思う支援

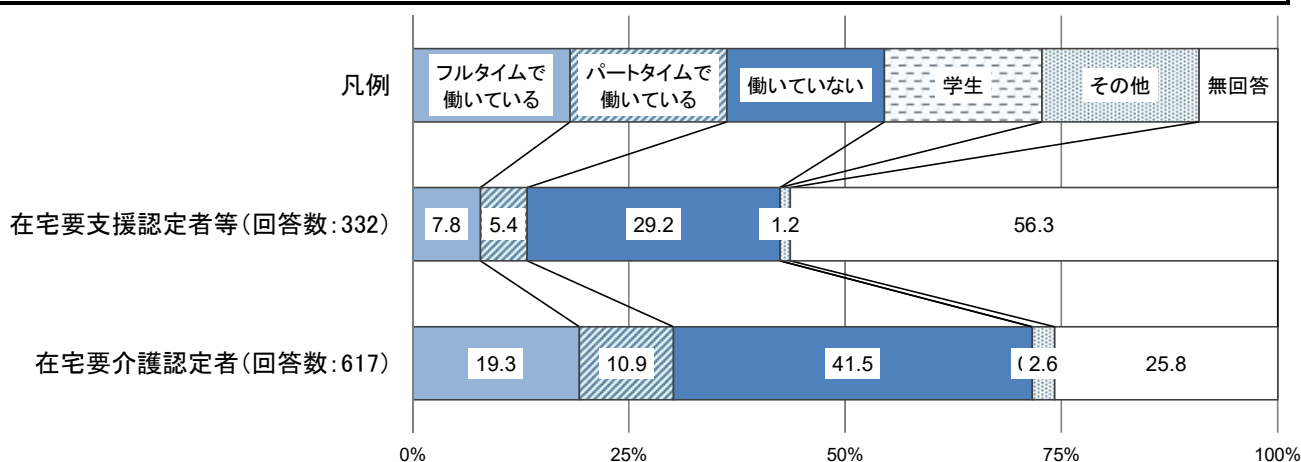
[設問] 介護者として、介護に関してどのような支援があったらいいと思いますか。



○「無回答」を除き、在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者ともに「いざという時に利用しやすい短期入所の提供」がそれぞれ 22.0%、39.5%で最も多く、次いで在宅要支援認定者等では「介護に関する情報」が 15.1%、在宅要介護認定者では「介護に必要な物品の支給」が 29.3%などとなっている。

(6) 介護者の現在の勤務形態等

[設問] あなたの現在の勤務形態等についてお答えください。

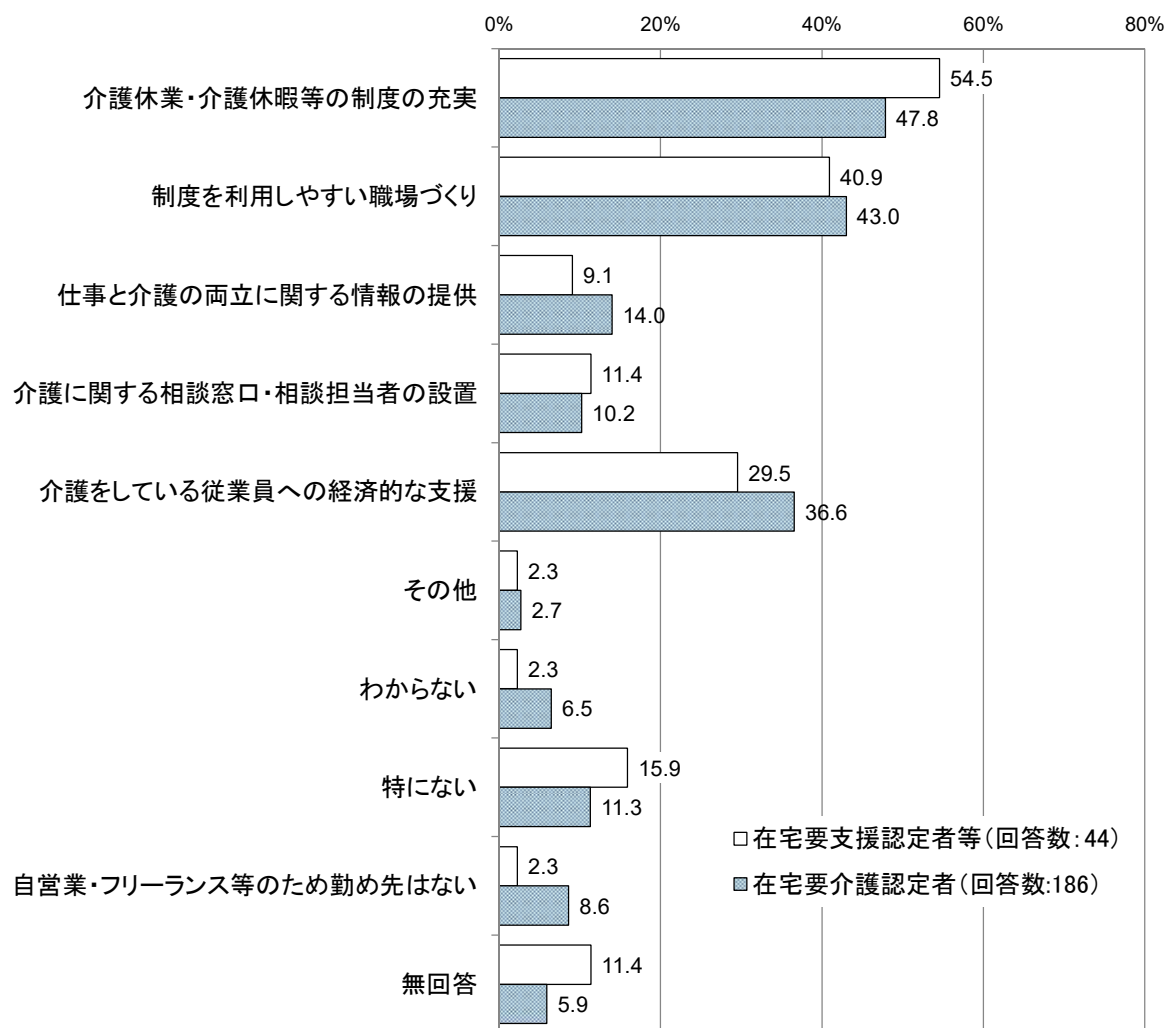


○「無回答」を除き、在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者とも、「働いていない」が最も多く、それぞれ 29.2%、41.5%となっている。次いで「フルタイムで働いている」が 7.8%、19.3%、「パートタイムで働いている」が 5.4%、10.9%となっている。

(7) 勤め先からの支援について

[設問] (フルタイム/パートタイムで働いている方のみ)

あなたは、勤め先からどのような支援があれば仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(〇は3つまで)



○在宅要支援認定者等と在宅要介護認定者ともに「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が最も多く、それぞれ54.5%、47.8%、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」が40.9%、43.0%、第3位は「介護をしている従業員への経済的な支援」が29.5%、36.6%などとなっている。

(8) 自由意見等

◎最後に、市の高齢者保健福祉施策についてご意見、ご要望等がありましたら、自由にご記入ください。

【記述内容(主なもの)】(属性:回答者/年齢/居住地域/性別)

<一般高齢者>

- 寝たきり状態になり、介護人もなく(身内に)経済的にも余裕が無くなった場合どうすれば良いか、今不安である。独居老人になった場合の生活の仕方はどうすれば良いか。 あて名のご本人/75歳~79歳/花咲、屋敷、泉町、大久保、本大久保/男性
- 公民館などのサークル活動も多々ありますが、メンバーが長くいる人たちで固まっているように思えて新規に参入しにくい感じです。気候が良い時に公園などで気軽にできる運動の場があると良いです。広報などを見ていると谷津での活動、催しが他の地域に比べて少ない様に思います。 あて名のご本人/70歳~74歳/谷津、谷津町、奏の杜/女性
- 年金(遺族年金含む)が月5万ほどで、その中から国民健康保険、介護保険、家賃、光熱費を支払うとほとんど残りません。頑張っているのですが、年々転倒する回数が増え、この先の生活が危なくなってきました。その場合どこに相談すればよいのか?いつまで働けるのか?不安はつきません。70歳~74歳/実籾、実籾本郷、新栄、東習志野
- 高齢者が安心して住める市や町であってほしい(例えばバリアフリー等)。 あて名のご本人/75歳~79歳/津田沼、鷺沼、鷺沼台、藤崎/女性
- イベント、施設のシルバー割引があると今までより外出の回数が増えると思います。 あて名のご本人/70歳~74歳/谷津、谷津町、奏の杜/女性
- 現在、社会福祉協議会のボランティアをして、地域の福祉活動をしています。以前には民生委員として活動したことがありました。今でも思うのですが、市からの地域の方々の情報が少なく、見守り等をしたくても、どこに誰が住んでいらっしゃるのか全く分からないのが現状です。民生委員の時はその地区の事を良く知っている方々に聞きまわり、1軒1軒訪ねて回りました。その頃は喜寿や米寿等の祝い金を配っていましたので、その時に訪問出来てお会いできたのですが、現在はその制度もなくなりました。市の方ではせめて75才後期高齢者になった年に、75歳の方全員に、民生委員の方に訪問してもらうということはどうでしょうか。(一部抜粋) あて名のご本人/70歳~74歳/秋津、茜浜、香澄、芝園、袖ヶ浦/女性
- 私は藤崎に住んでいますが、習志野市の公民館へは交通の便が悪くて利用していません。もっぱら船橋市の公民館へ参加させてもらっています。藤崎図書館があった頃は時々通っていましたが、今はそれも遠くなりほとんど行きません。どの地区の人も利用しやすい交通手段があれば助かるのですが…。ご検討下されば幸いです。 あて名のご本人/75歳~79歳/津田沼、鷺沼、鷺沼台、藤崎/女性
- 免許、自主返納した場合、タクシー券、バス券等選択制にしてほしい。 あて名のご本人/85歳~89歳/谷津、谷津町、奏の杜/男性
- 高齢者外出支援事業のタクシー券をいただいておりますが、重い荷物のある時、具合が悪くて病院へ行く時など大変助かっています。故夫が闘病していた時、地域包括センターの存在はとてもありがたかったです。すぐに対応してもらえたことは市への信頼につながりました。 あて名のご本人/75歳~79歳/花咲、屋敷、泉町、大久保、本大久保/女性
- このアンケートを記入していったら、マンション住まいで、近隣付き合いやボランティア参加もないため、年をとったら…の不安が過ぎりました。健康福祉部、高齢者支援課、頼りです。年令的に健康面では不安もないのですが、75才以後はどんな不便が及ぶのか、今後の福祉など考えて行かなくては…と考えさせられました。予備知識や施設にお世話になることなど自分事として計画していこうと思いました。(一部抜粋) あて名のご本人/70歳~74歳/津田沼、鷺沼、鷺沼台、藤崎/女性

<在宅要支援認定者等>

- 交流するための場の充実があるいいと特に思いました。よろしく願います。あて名のご本人／85歳～89歳／谷津、谷津町、奏の杜／女性
- 介護サービスの内容をもう少し具体的に充実したものにしてほしいです。あて名のご本人／85歳～89歳／谷津、谷津町、奏の杜／男性
- 毎年タクシー券をいただいておりますが、なるべく使用しないように心掛けています。いざ使いたい時にタクシー券が無くて使えない事があり病院に行く際に困ったことがありました。あて名のご本人／85歳～89歳／花咲、屋敷、泉町、大久保、本大久保／女性
- 長く続いているコロナ禍、こうして細かく考えてくださる市役所の皆様に心より感謝申し上げます。お陰様で現在夫婦二人で何とか歩いて近くまでは交互に買い物にも行けております。それはというもの、一緒に住んでくれている58歳の娘が一生懸命勤めに出ています。私共も親として少しでも応援してやりたいと思って頑張っております。これからも多くの若者達が元気に働ける世の中であってもらいたく頑張っております。ありがとうございます。ご苦勞様です。あて名のご本人／85歳～89歳／谷津、谷津町、奏の杜／女性
- タクシー券について、毎年タクシー券をありがとうございます。病院、ショッピング等に使用させて頂いております。すぐになくなってしまいますので、もう少し多くしていただけたら幸せに存じます。どうぞよろしく願います。健康について、要支援者のみの健康体操、または学習会の実施をお願いします。あて名のご本人／80歳～84歳／花咲、屋敷、泉町、大久保、本大久保／女性
- 施策の検討の前に、年金だけでは生活していけない現状。家族がお金を支援してやりくりしているが、父は介護施設で母はひとり暮らし、生活保護のハドルは高いし2人分の生活を支えるのは限界に近い。月の収入をなんとかしないとサービス以前の問題なので話にならない。あて名の方の親族／80歳～84歳／実籾、実籾本郷、新栄、東習志野／女性
- 現在歩行者を使用して外出していますが、バスに乗る時段差に苦勞しています。段差のない道路や町にしてほしいです。あて名のご本人／75歳～79歳／秋津、茜浜、香澄、芝園、袖ヶ浦／女性
- ヘルパーさんに部屋やお風呂場の掃除をしていただいておりますのでわかりません。現在は満足しています。あて名のご本人／80歳～84歳／花咲、屋敷、泉町、大久保、本大久保／女性
- 可能な限り自立した生活をするを基準といたしますが、行政の援助も必要に応じて受けたいと思います。介護過多による弊害も指摘されておりますので自立生活を最期まで出来ればと夢見ております。この調査票の内容がお蔵入りすることなく現実の市政に活かされることを希望します。あて名のご本人／70歳～74歳／花咲、屋敷、泉町、大久保、本大久保／男性
- 楽しく穏やかに日々過ごしておりますので特に要望はございませんが、今後とも高齢者の心に寄り添った内容を充実させていただきたく願っております。年に1度でも高齢者の生の声を聞ける会を開催されるのもいいと思います。あて名のご本人／85歳～89歳／実籾、実籾本郷、新栄、東習志野／女性
- 私は友人・知人に生活上で困ったことが生じたら市役所に相談すること、必要な窓口に必ず繋いでくれると話しています。私に必要になった時に自分で出来ない時は周囲のどなたかにやっていただくよう伝えたいと思っています。よろしく願います。市役所が頼りです。あて名のご本人／75歳～79歳／花咲、屋敷、泉町、大久保、本大久保／女性
- アンケートの回数が多い。アンケートの回答が負担になります。あて名の方の子ども／80歳～84歳／津田沼、鷺沼、鷺沼台、藤崎／男性
- 少ない年金生活でサービスを利用させて頂いておりますのでもう少し利用負担額がおさえられると幸いです。85歳～89歳／谷津、谷津町、奏の杜／女性
- これから高齢者はしばらく増えることとなると思います。高齢者が自立して生活出来ることが大切なことではないでしょうか。その為に少しでも早くからケアすることは良い対策と共に必要かと思っております。年令に応じて進めて行くことも大事なプロセスかと感じています。あて名の方の配偶者(夫・妻)／80歳～84歳／津田沼、鷺沼、鷺沼台、藤崎／男性

<在宅要介護認定者>

- 色々な施策を実施していることを、母が認知症となり介護をする事になってはじめて知りました。ありがたいなと思える施策がいくつも用意されていましたが、もっと積極的に訴求すべきと思います。当事者となってから色々調べて知るより、健常の間から意識付けをする事が重要だと思います。そのためには今は福祉施策が必要でない層へ向けても広く認知してもらう方法を考え実施して下さい。 あて名の方の子ども／85歳～89歳／実籾、実籾本郷、新栄、東習志野／女性
- 今の所デイサービス訪問介護、訪問診療を受けておりますが、すべて満足しております。しばらく今のままで続けられたらと思っております。職員の皆様のお気遣いに感謝致しております。 あて名の方の子ども／100歳以上／谷津、谷津町、奏の杜／女性
- 10月度に要介護を適用されましたが、この2ヶ月で体力筋力がおとろえて困っています。今年88才で日々体調が変化しています。特養施設の申込みが今の段階では出来ないと言われました。入居出来る出来ないにかかわらず介護者としては早めに入居対応していただくと安心します。 あて名の方の子ども／85歳～89歳／実籾、実籾本郷、新栄、東習志野／女性
- コロナ、長寿社会、人手不足、仕方ないことと思いますが、老人施設など時々事故が起きないように調査して頂けると良いです。特養、有料老人ホームも介護士さんが少ないです。大変な仕事です。長続きされず退職者も多いようです。好きなことを書かせて頂きましたが市役所で働いていらっしゃる方達もお忙しい事でしょう。薬に薬を使用せず健康に気をつけるべき食事と運動を心がけているつもりです。ありがとうございます。これからもよろしく願いいたします。 あて名の方の子ども／65歳～69歳／花咲、屋敷、泉町、大久保、本大久保／女性
- 実質的に入れる老人ホームの管理と作成。 あて名のご本人／90歳～94歳／秋津、茜浜、香澄、芝園、袖ヶ浦／男性
- 先がみえない介護は精神的にも肉体的にもとても疲れます。介護者にももっと気楽に相談できる窓口があれば、気分も多少楽になるのかとも思います。施設入居前にはケアマネジャーによくしていただいたのでわかりやすく援助受けさせていただけに感謝していました。あて名の方の子ども／90歳～94歳／谷津、谷津町、奏の杜／男性
- 今は施設入所しているがそれまではいろいろあった。その都度ケアマネやデイサービスの方達が良くして下さいありがたかったです。介護の現場ではいろいろ問題があるようですが、介護する全ての人が追いこまれないようなシステムを構築していただくとありがたいです。 あて名の方の子ども／85歳～89歳／谷津、谷津町、奏の杜／女性

第2章 施設入所者調査

【調査回答者】

[設問] このアンケートに答えていただくのはどなたですか。

(単位%)

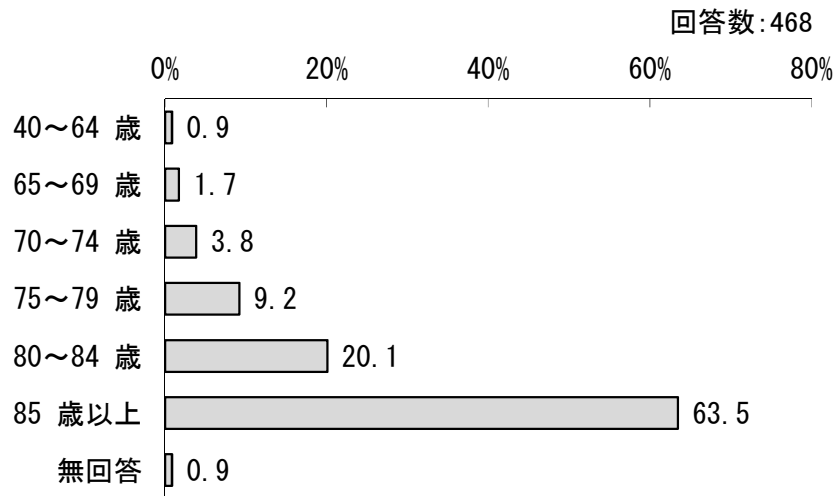
	あて名 のご本人	あて名 の方の 配偶者 (夫・妻)	あて名 の方の 子ども	あて名 の方の 親族	友人・ 知人	ケアマ ネジャ ー	施設の 職員	ホーム ヘルパ ー	その他	無回答
施設入所者 (回答数 468)	35.7	4.3	29.9	3.6	0.0	3.2	19.7	0.6	3.0	35.7

○「あて名のご本人」が 35.7%で最も多く、次いで「あて名の方の子ども」が 29.9%で多くなっている。

1 本人の年齢や性別などについて

(1) 年齢

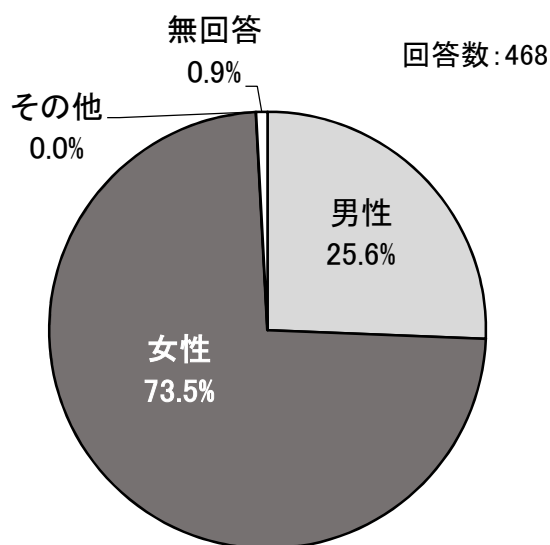
問1 あなたの年齢をお答えください。



○「85歳以上」が 63.5%で最も多く、次いで「80～84歳」が 20.1%、「75～79歳」が 9.2%などとなっている。

(2) 性別

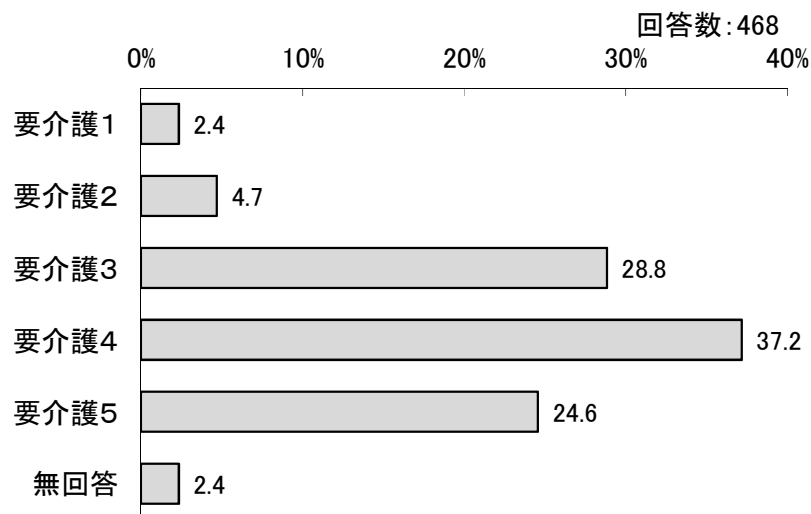
問2 あなたの性別をお答えください。



○「男性」が25.6%、「女性」が73.5%で、女性が多くなっている。

(3) 要介護度

問3 あなたの要介護度は次のどれにあたりますか。

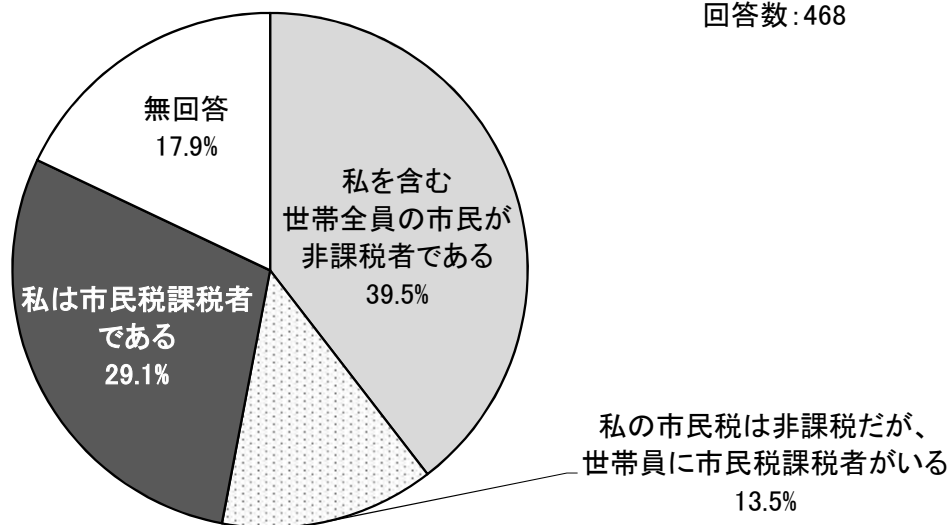


○「要介護4」が37.2%で最も多く、「要介護3」が28.8%、「要介護5」が24.6%と続いている。

(4) 市民税課税状況

問4 市民税の課税状況をお答えください。

回答数: 468

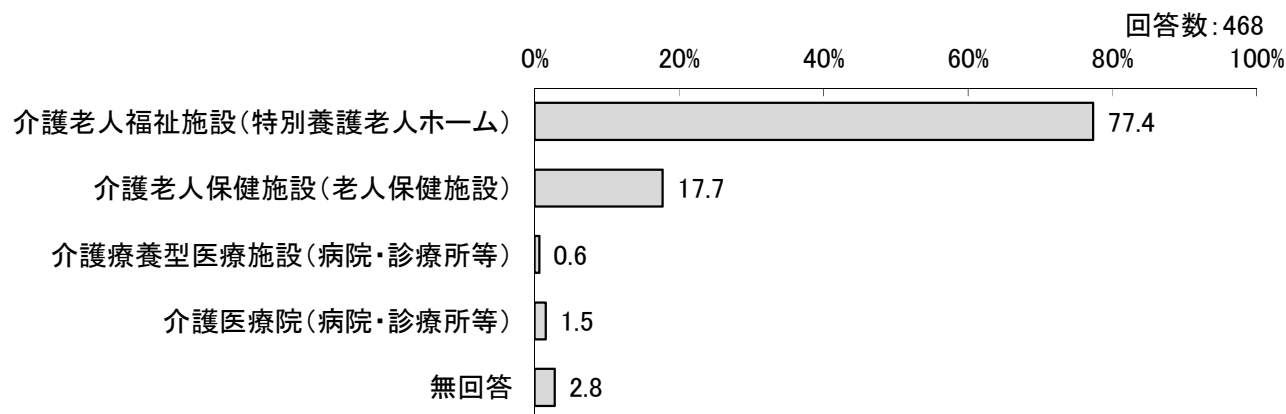


○「私を含む世帯全員の市民税が非課税である」が39.5%で最も多くなっている。

3 入所している施設について

(1) 入所施設の種類の種類

問5 あなたは現在、どの施設に入所していますか。



○「介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)」が 77.4%で最も多く、次いで「介護老人保健施設(老人保健施設)」が 17.7%で多くなっている。

【要介護度別】

上段:回答数 下段:割合(%)	合計	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	介護老人保健施設(老人保健施設)	介護療養型医療施設(病院・診療所等)	介護医療院(病院・診療所等)	無回答
全体	468	362	83	3	7	13
	100.0	77.4	17.7	0.6	1.5	2.8
要介護1	11	5	5	0	1	0
	100.0	45.5	45.5	0.0	9.1	0.0
要介護2	22	8	13	0	0	1
	100.0	36.4	59.1	0.0	0.0	4.5
要介護3	135	112	21	0	1	1
	100.0	83.0	15.6	0.0	0.7	0.7
要介護4	174	143	24	1	1	5
	100.0	82.2	13.8	0.6	0.6	2.9
要介護5	115	91	17	2	4	1
	100.0	79.1	14.8	1.7	3.5	0.9

○「介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)」は要介護3以上の施設入所者のうち8割前後と多くなっており、「介護老人保健施設(老人保健施設)」は要介護2の施設入所者の割合が多くなっている。

【経年比較】

(単位%)

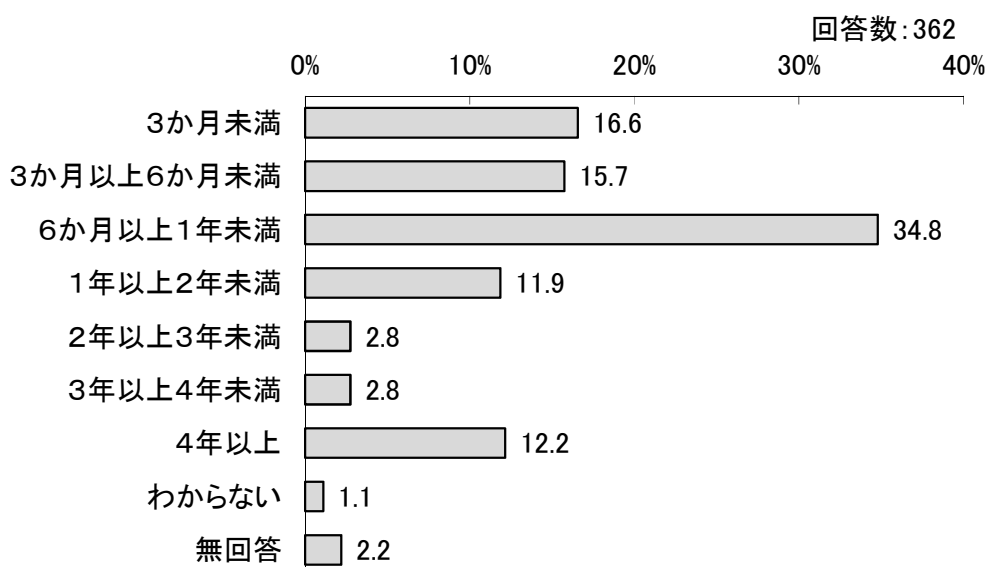
	合計	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	介護老人保健施設(老人保健施設)	介護療養型医療施設(病院・診療所等)	介護医療院(病院・診療所等)	無回答
令和4年度調査 (総数 468)	100.0	68.1	25.9	1.1	1.1	3.7
令和元年度調査 (総数 348)	100.0	68.1	25.9	1.1	1.1	3.7

○令和元年度の調査結果と比較すると、今回調査では「介護老人福祉施設」が 9.3 ポイント増加し、「介護老人保健施設」が 8.2 ポイント減少している。

(2) [介護老人福祉施設] 申込から入所するまでの期間

問5-1 (介護老人福祉施設に入所されている方のみ)

入所申込をされてから、入所するまでの期間はどの程度でしたか。

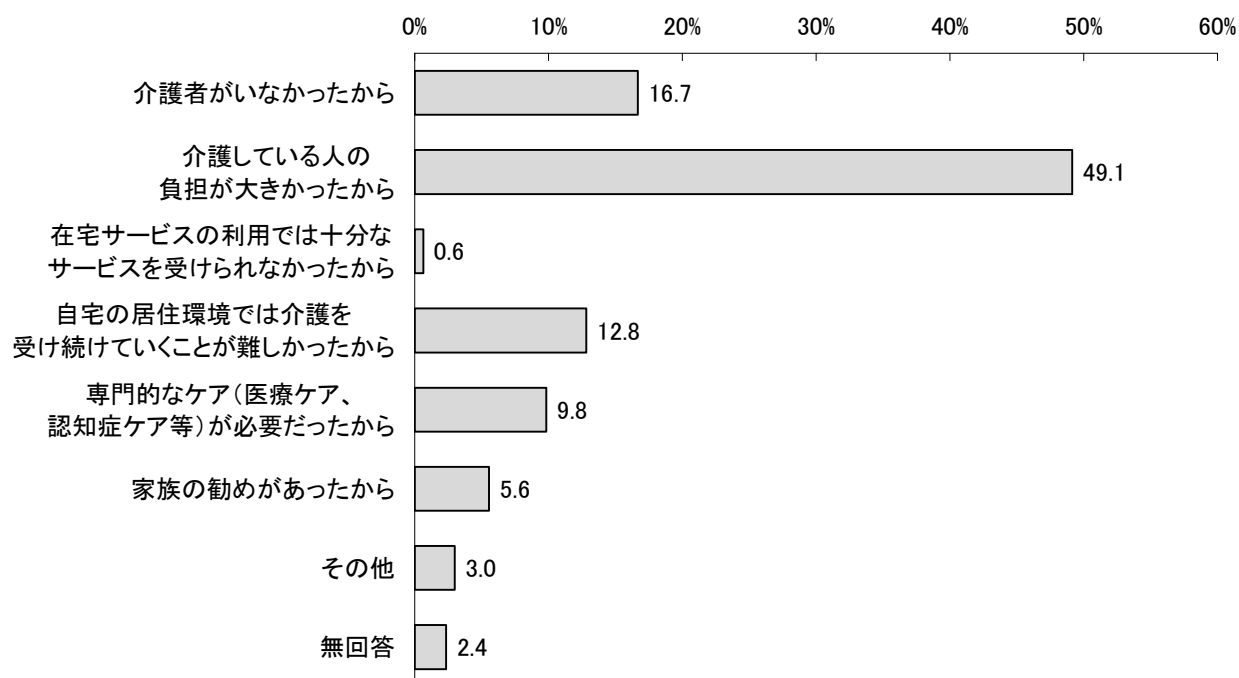


○「6か月以上1年未満」が 34.8%で最も多く、「3か月未満」が 16.6%、「3か月以上6か月未満」が 15.7%で続いている。

(3) 施設入所を選んだ理由

問6 施設の入所を選んだ主な理由は何ですか。

回答数：468



○「介護している人の負担が大きかったから」が49.1%と最も多く、「介護者がいなかったから」が16.7%、「自宅の居住環境では介護を続けていくことが難しかったから」が12.8%と続いている。

【要介護度別】

上段：回答数 下段：割合(%)	合計	介護者がいなかったから	介護している人の負担が大きかったから	在宅サービスの利用では十分なサービスを受けられなかったから	自宅の居住環境では介護を受け続けていくことが難しかったから	専門的なケア、医療ケア、認知症ケア等が必要だったから	家族の勧めがあったから	その他	無回答
全体	468 100.0	78 16.7	230 49.1	3 0.6	60 12.8	46 9.8	26 5.6	14 3.0	11 2.4
要介護1	11 100.0	1 9.1	2 18.2	0 0.0	4 36.4	2 18.2	0 0.0	2 18.2	0 0.0
要介護2	22 100.0	8 36.4	4 18.2	0 0.0	5 22.7	3 13.6	2 9.1	0 0.0	0 0.0
要介護3	135 100.0	20 14.8	68 50.4	2 1.5	16 11.9	9 6.7	13 9.6	4 3.0	3 2.2
要介護4	174 100.0	33 19.0	86 49.4	0 0.0	28 16.1	14 8.0	8 4.6	2 1.1	3 1.7
要介護5	115 100.0	15 13.0	68 59.1	1 0.9	7 6.1	16 13.9	3 2.6	4 3.5	1 0.9

○要介護1では「自宅の居住環境では介護を受け続けていくことが難しかったから」が36.4%、要介護2では「介護者がいなかったから」が36.4%、要介護3から要介護5では「介護している人の負担が大きかったから」がそれぞれ50.4%、49.4%、59.1%で最も多くなっている。

【経年比較】

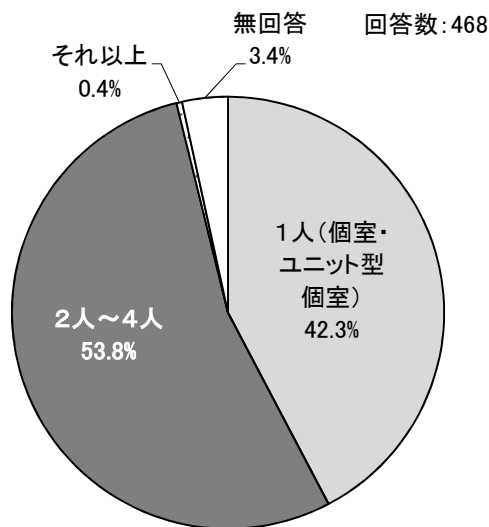
単位：%

	合計	介護者がいなかったから	介護している人の負担が大きかったから	在宅サービスの利用では十分なサービスを受けられなかったから	自宅の居住環境では介護を受け続けていくことが難しかったから	専門的なケア、医療ケア、認知症ケア等が必要だったから	家族の勧めがあったから	その他	無回答
令和4年度調査 (回答数：468)	100.0	16.7	49.1	0.6	12.8	9.8	5.6	3.0	2.4
令和元年度調査 (回答数：348)	100.0	24.4	38.2	1.1	18.1	11.2	1.1	2.3	3.4

○令和元年度の調査と比較すると、今回調査の結果では、「介護している人の負担が大きかったから」が10.9ポイントと大きく増加し、「介護者がいなかったから」が7.7ポイント減少している。

(4) 部屋の定員

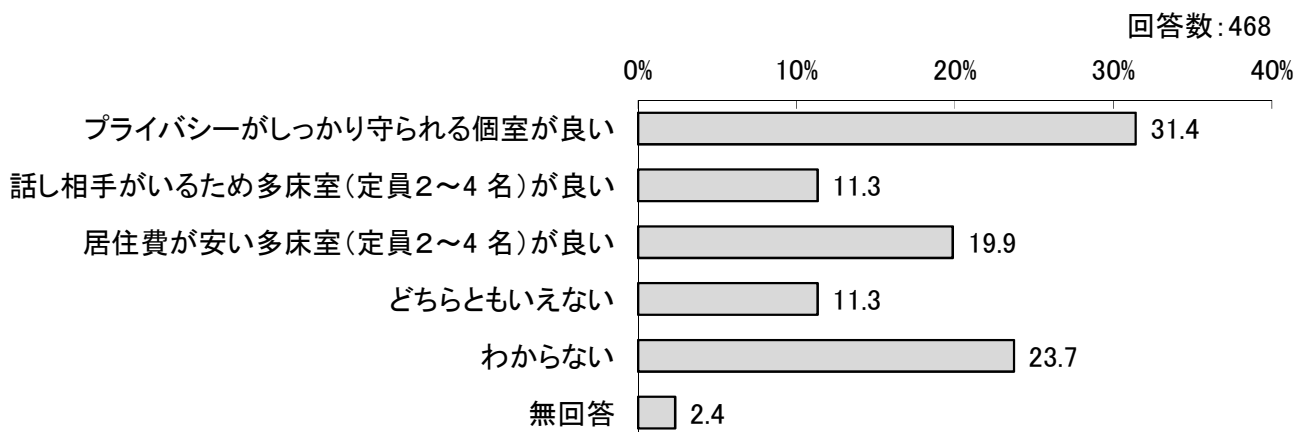
問7 あなたの部屋の定員は何人ですか。



○「2人～4人」が 53.8%で最も多く、次いで「1人(個室・ユニット型個室)」が 42.3%、「それ以上」が 0.4%となっている。

(5) 希望する部屋の種類

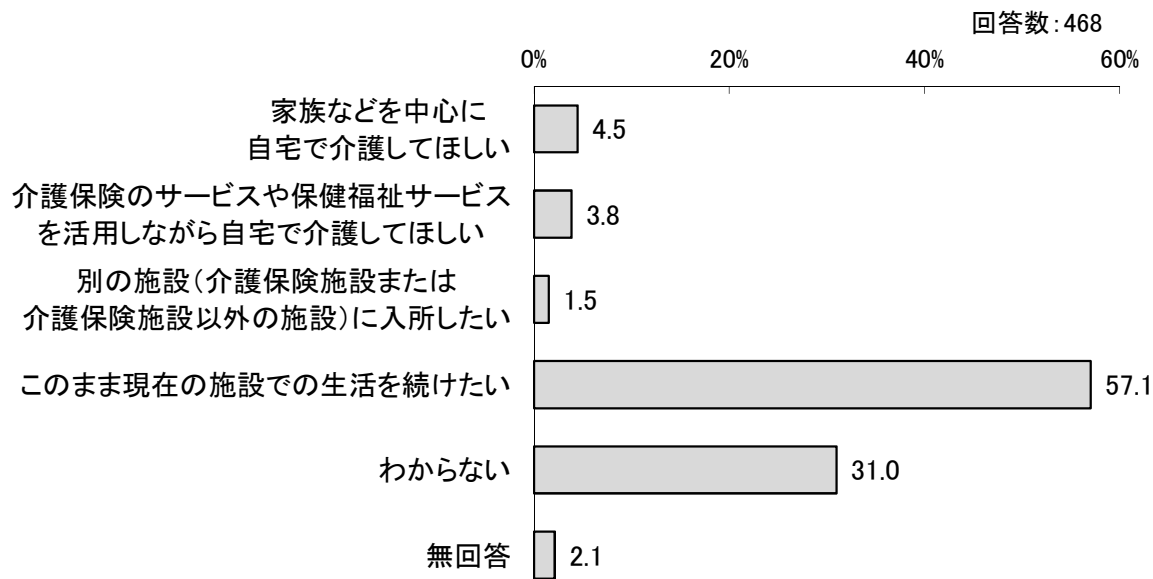
問8 部屋は個室と多床室のどちらを望まれますか。



○「プライバシーがしっかり守られる個室が良い」が 31.4%で最も多く、次いで「わからない」が 23.7%、「居住費が安い多床室(定員2～4名)が良い」が 19.9%と多くなっている。
また、多床室を希望する割合は、「話し相手がいるため」の 11.3%と「居住費が安い」の 19.9%を合わせて 31.2%となっている。

(6) 今後希望する介護

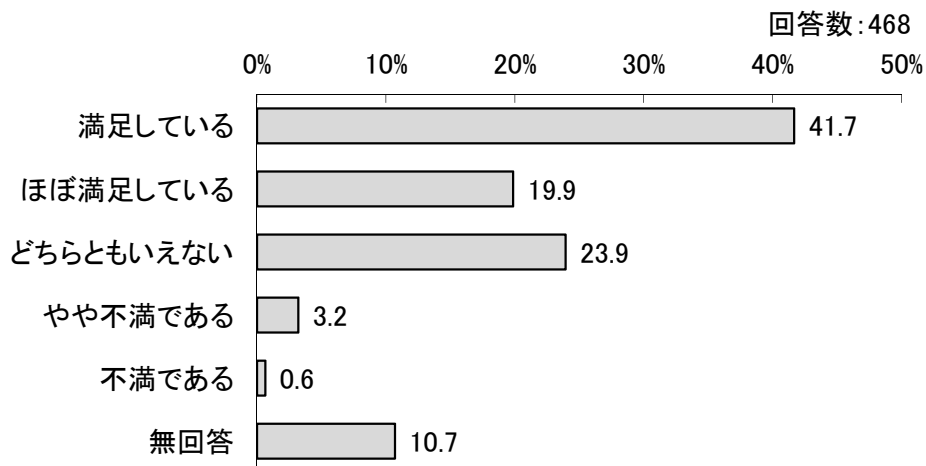
問9 今後、あなたはどのような介護を希望しますか。



○「このまま現在の施設での生活を続けたい」という回答が 57.1%を占めて最も多く、次いで「わからない」31.0%が多くなっている。

(7) サービスの満足度

問10 現在入所している施設のサービスに満足していますか。



○「満足している」が 41.7%で最も多く、「ほぼ満足している」の 19.9%を合わせると、61.6%となっている。また、「どちらともいえない」が 23.9%となっている。

【施設種類別】

上段:回答数 下段:割合(%)	合計	満足して いる	ほぼ満足 している	どちらとも いえない	やや不満 である	不満であ る	無回答
全体	468 100.0	195 41.7	93 19.9	112 23.9	15 3.2	3 0.6	50 10.7
介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	362 100.0	151 41.7	55 15.2	102 28.2	13 3.6	3 0.8	38 10.5
介護老人保健施設 (老人保健施設)	83 100.0	37 44.6	34 41.0	7 8.4	1 1.2	0 0.0	4 4.8
介護療養型医療施設 (病院・診療所等)	3 100.0	2 66.7	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
介護医療院 (病院・診療所等)	7 100.0	3 42.9	1 14.3	1 14.3	1 14.3	0 0.0	1 14.3

○「満足している」の回答割合は、各施設で4割を超えており、介護療養型医療施設で特に多く、66.7%となっている。

【経年比較】

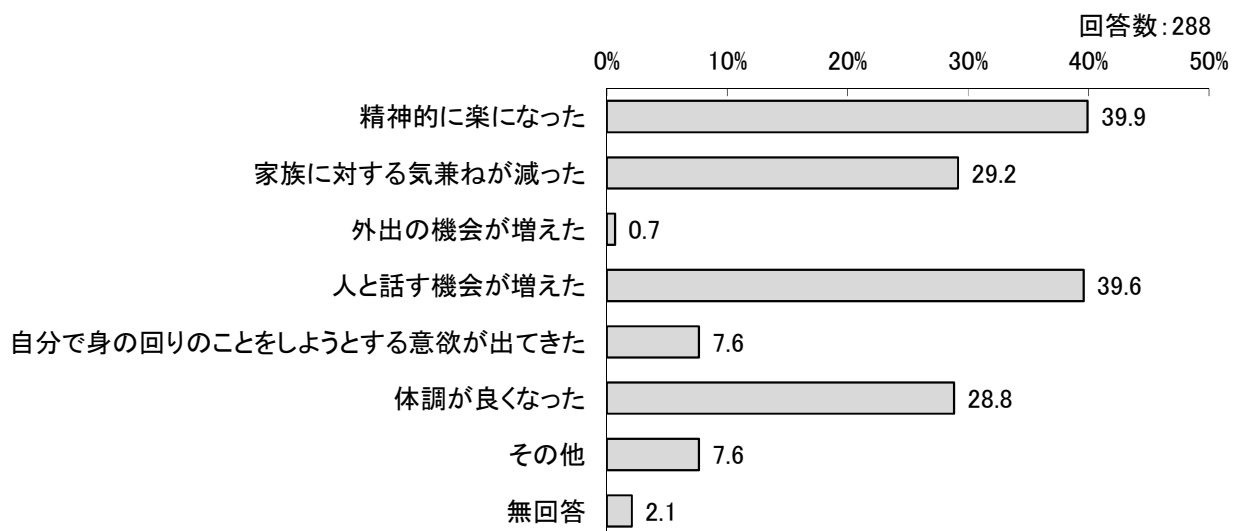
	合計	満足して いる	ほぼ満足 している	どちらとも いえない	やや不満 である	不満であ る	無回答
令和4年度調査 (回答数 468)	100.0	41.7	19.9	23.9	3.2	0.6	10.7
令和元年度調査 (回答数 348)	100.0	35.9	43.7	11.8	5.7	0.6	2.3

○令和元年度の調査と比較すると、今回調査の結果では、「満足している」が 5.8 ポイント増加しているものの、「ほぼ満足している」が 23.8 ポイントと大きく減少している。

(8) 施設サービスを受けて良かったこと

問 11 (施設サービスに「満足している」、「ほぼ満足している」方のみ)

あなたにとって、現在の施設サービスを受けて良かったと思うことは何ですか。(○はいくつでも)



○「精神的に楽になった」39.9%、「人と話す機会が増えた」39.6%が多く、「家族に対する気兼ねが減った」が 29.2%、「体調が良くなった」が 28.8%と続いている。

【施設種類別】

上段: 回答数 下段: 割合(%)	合計	精神的に楽になった	家族に対する気兼ねが減った	外出の機会が増えた	人と話す機会が増えた	自分で身の回りのことをしようとする意欲が出てきた	体調が良くなった	その他	無回答
全体	288	115	84	2	114	22	83	22	6
	100.0	39.9	29.2	0.7	39.6	7.6	28.8	7.6	2.1
介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	206	82	61	1	90	14	51	15	5
	100.0	39.8	29.6	0.5	43.7	6.8	24.8	7.3	2.4
介護老人保健施設 (老人保健施設)	71	26	20	1	22	7	28	6	1
	100.0	36.6	28.2	1.4	31.0	9.9	39.4	8.5	1.4
介護療養型医療施設 (病院・診療所等)	2	1	0	0	0	0	1	0	0
	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
介護医療院(病院・診療所等)	4	3	1	0	0	1	2	0	0
	100.0	75.0	25.0	0.0	0.0	25.0	50.0	0.0	0.0

○介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)では、「人と話す機会が増えた」が43.7%で最も多く、次いで「精神的に楽になった」が39.8%などとなっている。介護老人保健施設(老人保健施設)では、「体調が良くなった」が39.4%と最も多く、次いで「精神的に楽になった」が36.6%などとなっている。

(9) 施設サービスを受けて不満な理由

問 12 (施設サービスに「やや不満である」、「不満である」方のみ)

あなたが、現在の施設サービスを受けて不満に思う理由は何ですか。(〇はいくつでも)

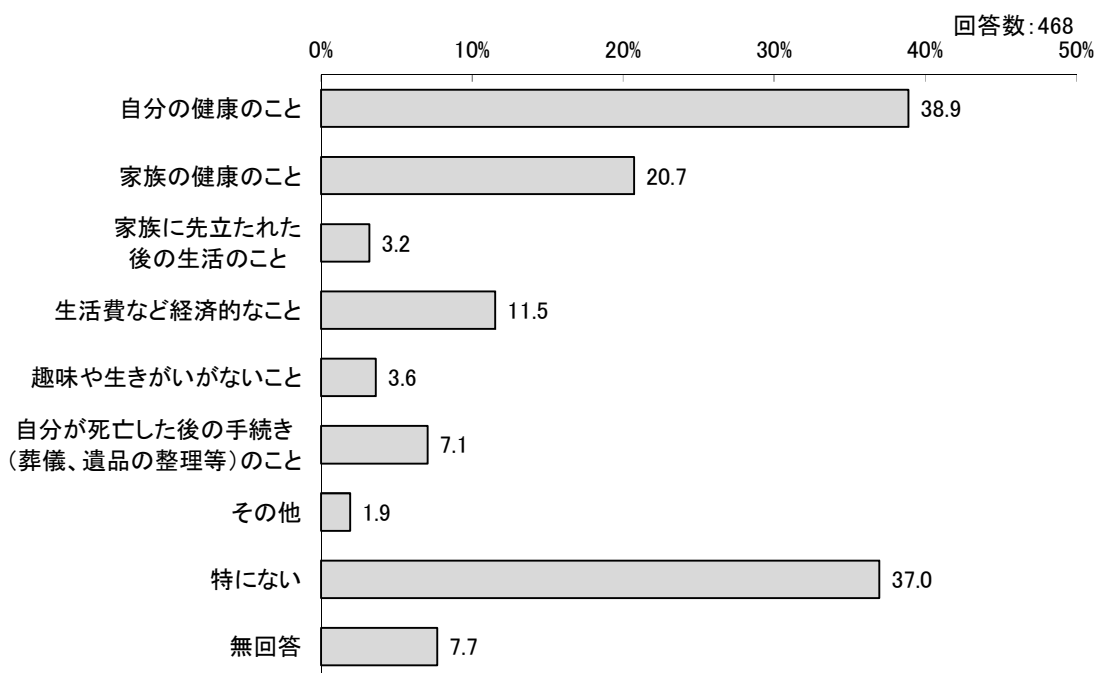
	回答数	%
おむつ交換や入浴などの介護の内容に不満がある	4	22.2
介護の仕方がおぼつかなくて、危なっかしい	1	5.6
介護の内容や方法などについて、希望を聞き入れてくれない	1	5.6
施設の職員の態度や言葉づかいなどが悪い	3	16.7
入所者の人権やプライバシーに対する配慮が足りない	0	0.0
食事の内容に不満がある(メニューや食事のあたたかさなど)	9	50.0
その他	4	22.2
無回答	1	5.6
全体(回答者数:18)	23	100.0

○「食事の内容に不満がある(メニューや食事のあたたかさなど)」が 50.0%で最も多く、次いで「おむつ交換や入浴などの介護の内容に不満がある」「その他」がともに 22.2%と多くなっている。

4 現在の心配ごとや悩みごとについて

(1) 現在の心配ごとや悩みごと

問 13 あなたには、現在、心配ごとや悩みごとはありますか。(〇はいくつでも)

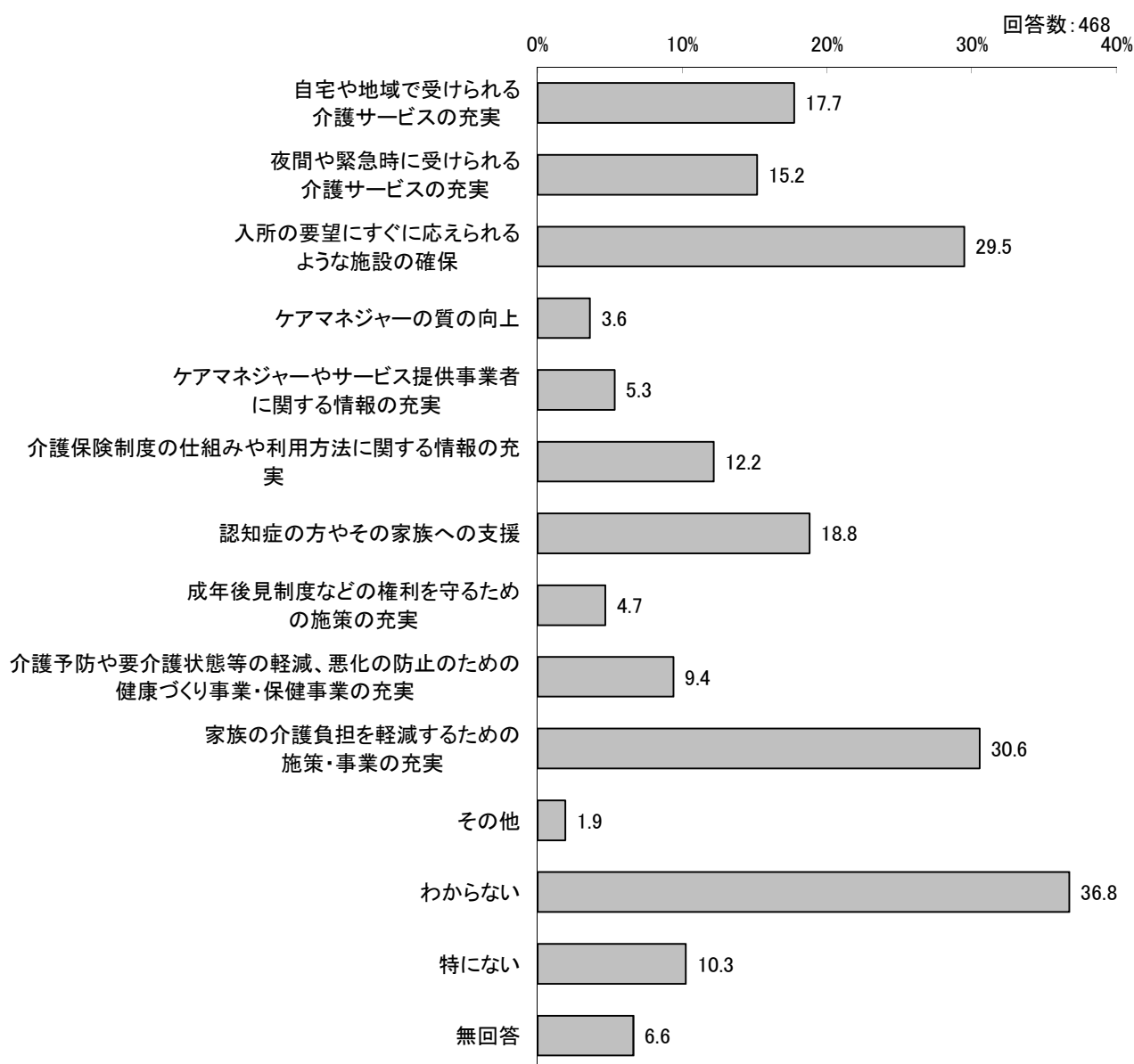


○「自分の健康のこと」が 38.9%最も多く、次いで「特にない」が 37.0%、「家族の健康のこと」が 20.7%、「生活費など経済的なこと」が 11.5%で続いている。

5 介護保険制度、高齢者施策について

(1) 力を入れるべき介護関連施策

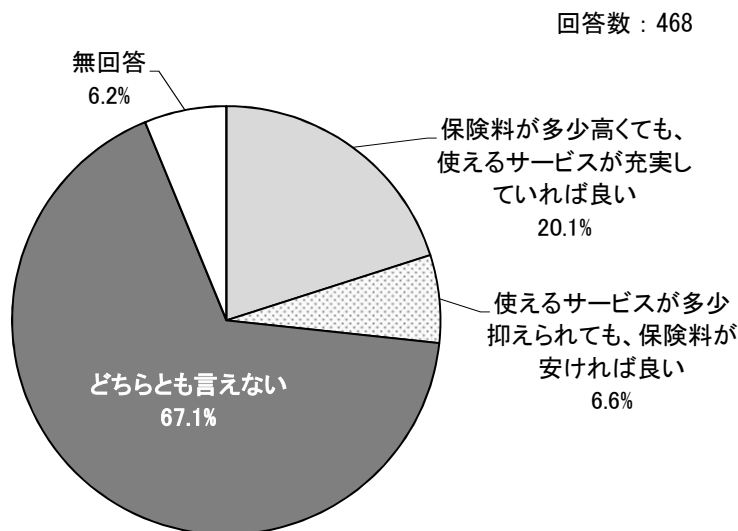
問 14 介護保険制度をはじめ、介護に関わるこれからの施策のあり方について、特に力を入れるべきことは何だと思えますか。(〇は5つまで)



○「わからない」が36.8%で最も多く、「家族の介護負担を軽減するための施策・事業の充実」が30.6%、「入所の要望にすぐに応えられるような施設の確保」が29.5%で続いている。

(2) 介護保険料とサービスのあり方についての意見

問 15 介護保険制度は、40 歳以上の方から保険料を徴収して介護が必要な方にサービスを提供する費用にあてていますが、保険料と介護サービスのあり方について、あなたのご意見に近いものはどれですか。



○「どちらとも言えない」が 67.1%で最も多く、次いで「保険料が多少高くても、使えるサービスが充実していれば良い」が 20.1%と多くなっている。

【経年比較】

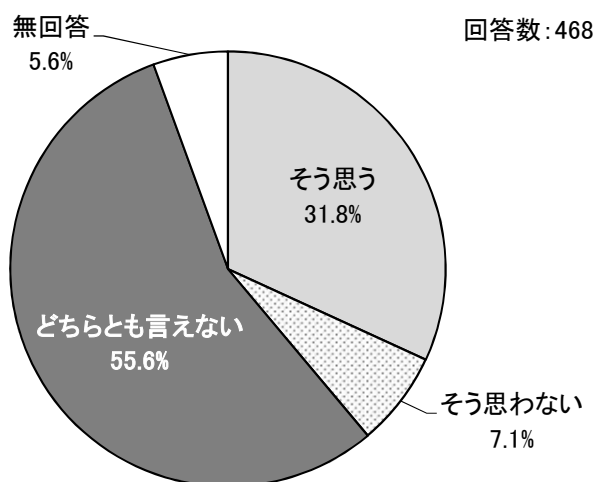
単位 : %

	保険料が多少高くても、使えるサービスが充実していれば良い	使えるサービスが多少抑えられても、保険料が安ければ良い	どちらとも言えない	無回答
令和4年度調査 (総数 468)	20.1	6.6	67.1	6.2
令和元年度調査 (総数 348)	31.6	11.2	54.3	2.9

○令和元年度の調査と比較すると、今回調査の結果では、「保険料が多少高くても、使えるサービスが充実していれば良い」が 11.5 ポイント、「使えるサービスが多少抑えられても、保険料が安ければ良い」が 4.6 ポイント減少する一方、「どちらとも言えない」が 12.8 ポイント増加している。

(3) 65 歳以上の方の保険料について

問 16 65 歳以上の方の保険料に関して「低所得者に配慮するために、高所得者の負担を多少増やすのもやむを得ない」ということについて、あなたはどのようにお考えですか。



○「どちらとも言えない」が55.6%で最も多く、次いで「そう思う」が31.8%と多くなっている。

【経年比較】

単位：%

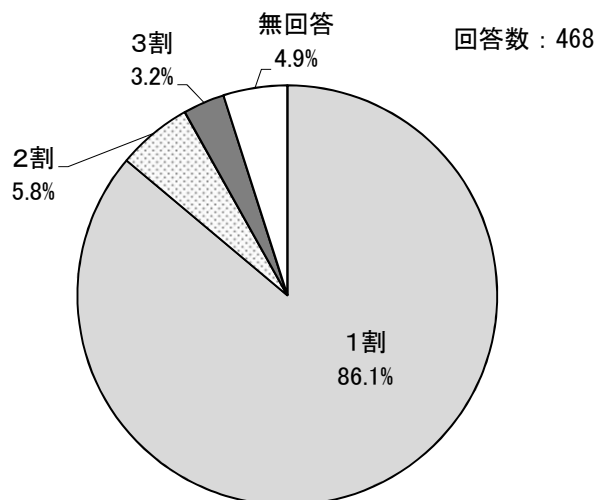
	そう思う	そう思わない	どちらとも言えない	無回答
令和4年度調査 (総数 468)	31.8	7.1	55.6	5.6
令和元年度調査 (総数 348)	31.6	11.2	54.3	2.9

○令和元年度の調査と比較すると、今回調査の結果では、「そう思わない」が4.1ポイント減少している。

(4) 自己負担割合別のサービス利用料の負担感

問 17 介護サービスを受けるためには、所得に応じてサービス利用費用（*食費・居住費を除く）を自己負担していただいております。

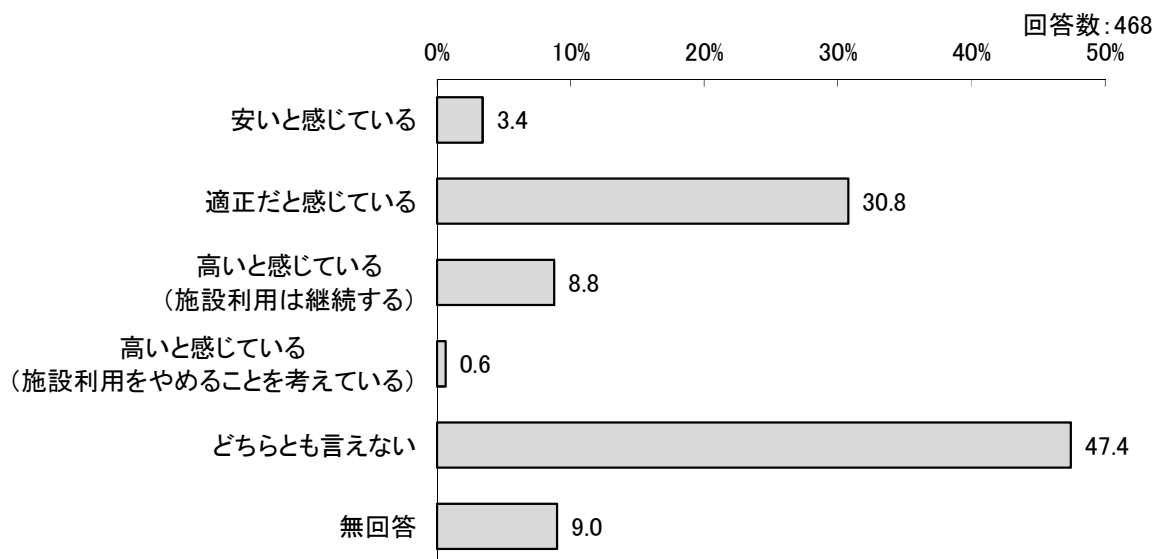
(1) あなたの自己負担割合をお答えください。



○「1割」負担が86.1%で最も多く、「2割」は5.8%、「3割」は3.2%となっている。

(5) 利用料の負担感

(2) (1)でお答えいただいた費用（自己負担分）について、どのように感じていますか。



○サービスの利用料について「どちらとも言えない」が47.4%で最も多く、次いで「適正だと感じている」が30.8%と多くなっている。

【自己負担割合別のサービス利用料の負担感】

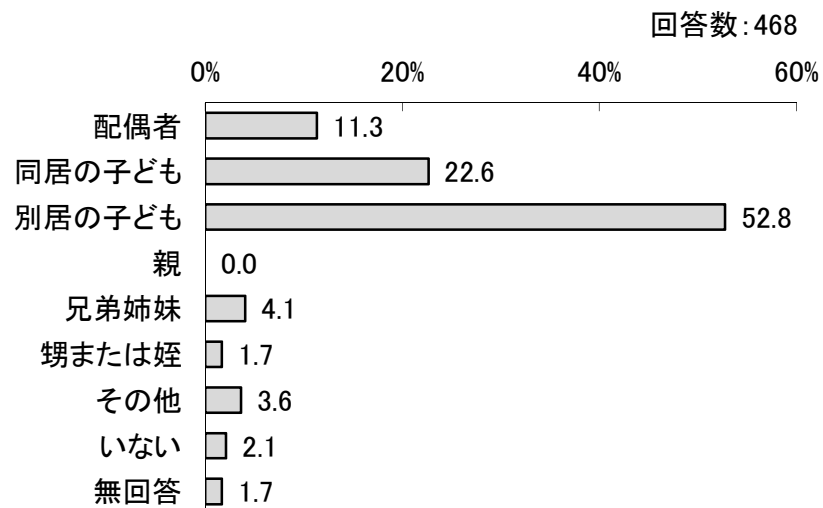
上段:回答数 下段:割合(%)	合計	安いと感じている	適正だと感じている	高いと感じている(施設利用は継続する)	高いと感じている(施設利用をやめることを考えている)	どちらとも言えない	無回答
全体	468	16	144	41	3	222	42
	100.0	3.4	30.8	8.8	0.6	47.4	9.0
1割	403	15	132	23	2	207	24
	100.0	3.7	32.8	5.7	0.5	51.4	6.0
2割	27	0	9	10	0	7	1
	100.0	0.0	33.3	37.0	0.0	25.9	3.7
3割	15	0	1	7	0	6	1
	100.0	0.0	6.7	46.7	0.0	40.0	6.7

○1割自己負担の人では「どちらとも言えない」が最も多いが、2割負担・3割負担の人では「高いと感じている(施設利用は継続する)」が最も多くなっている。

6 将来への備えについて

(1) 緊急時に必要な手続き・金銭管理をしてくれる身内

問 18 あなたの身に緊急事態が起きた時(事故等による介護を要する状態、認知症など)に、治療の方針の決定や介護サービスの利用に必要な手続き、金銭管理をしてくれる身内の方はいますか。いる場合は、主にどなたですか。

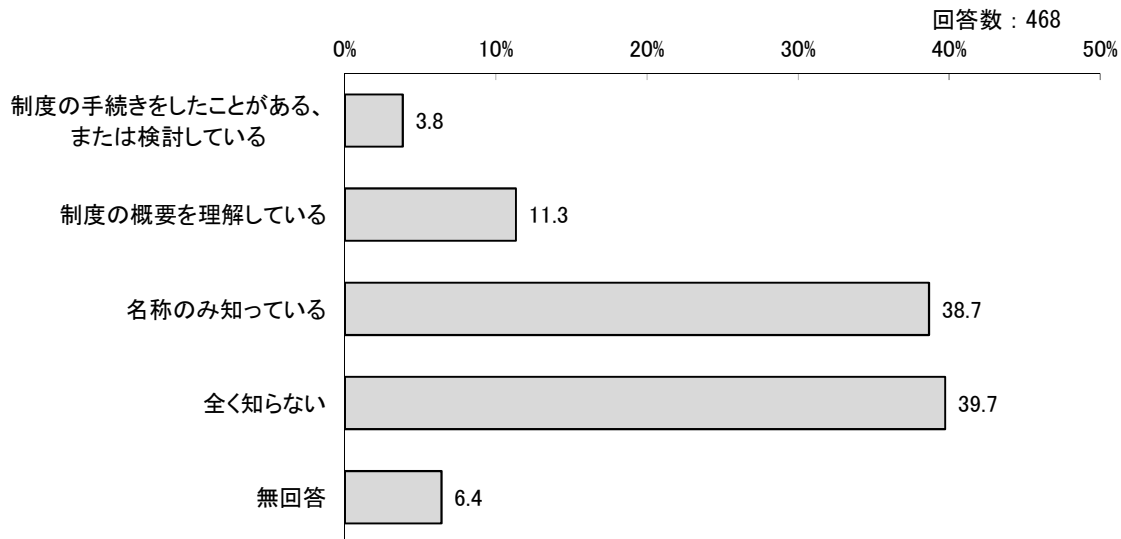


○「別居の子ども」が52.8%で最も多く、次いで「同居の子ども」が22.6%で多く、「配偶者」が11.3%が続いている。「いない」は2.1%となっている。

(2) 「成年後見制度」の認知状況

問 19 あなたは「成年後見制度」について、どの程度ご存知ですか。

〔「成年後見制度」とは、認知症や障がいなどにより、判断能力が十分でない方が不利益を被(こうむ)らないように家庭裁判所へ申立てをして、その方の権利を守る援助者を選び、法律的に支援する制度です。〕



○「全く知らない」が39.7%と最も多く、「名称のみ知っている」の38.7%と合わせると約8割となっている。

7 自由意見等

◎最後に、市の高齢者保健福祉施策についてご意見、ご要望等がありましたら自由にご記入ください。

【記述内容(主なもの)】(属性:年齢/性別/要介護度)

- リハビリ病院から今の施設へ移動しましたが、リハビリがほとんどできませんので、話し言葉ができなくなり、体力がおちた。(70~74歳/男性/要介護5)
- 施設で働かれている職員の方たちには、ただ感謝あるのみです。(85歳以上/女性/要介護5)
- コロナ前はいつでも面会ができたのに、コロナで面会もままなりません。それだけがとても残念です。(80~84歳/女性/要介護5)
- 調査結果を公開(市役所のホームページで)してほしい。(80~84歳/男性/要介護4)
- 現在他市の施設に入居しているが、現在より若干でも費用を抑えられ、入居が即できる施設が習志野市にはない。(相談には親切に対応していただけているが、そもそもでは、安価で安心、安定的に入居できる施設を増やす方向で施策をつくってほしい。希望が叶うならば、すぐにも移りたい(遠方よりも同市内の方が安心)。(80~84歳/男性/要介護3)
- 施設の個室は必須です。病院の入院と違って、死亡するまで続く生活です。何もわからないように見える認知症の進んだ方も、周囲の様子には敏感です。本人の生活だけでなく、家族の見舞いにも影響が出ます。幸い私どもはユニット形式に入所でき、本当にありがたいと思っております。(85歳以上/女性/要介護1)
- 習志野市は高齢者サービスについて詳しく情報を教えてください、とてもわかりやすく親切だと思います。ありがとうございます。(85歳以上/女性/要介護5)

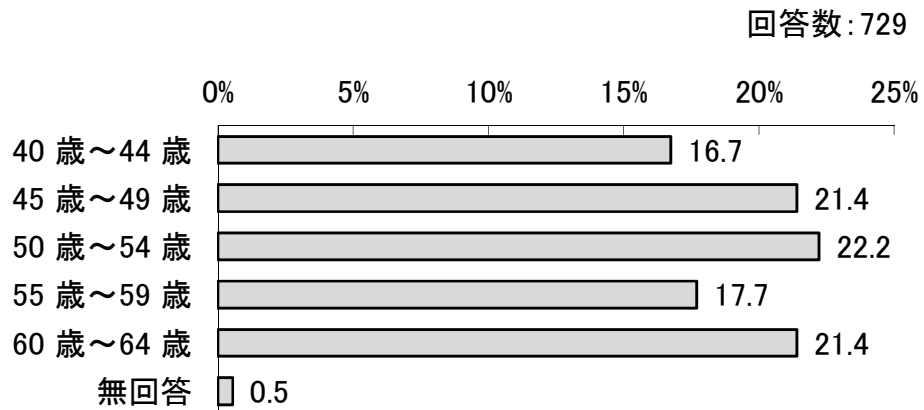
- 入所している施設のみなさんがやさしく対応してくれています。いろいろな施設が市内にありますが、施設の公平な評価を公表・周知してもらうことで良い業者が育っていくと思います。今入所している施設はとても良いと評価しています。世の中で事件を起こす職員が今後出ないように、適切な指導・管理が行政には必要だと考えます。(85歳以上／女性／要介護5)
- 習志野市は特養が少ないと感じています。又、老健も同じで実際に自分の要介護度が上がっていくと入所できる所は八千代市や千葉市になっている。(80~84歳／女性／要介護4)
- 本人も施設の皆様がよくなって下さることに感謝してることを伝えてくれます。家族の者もいろいろな行事を通して楽しみを与えて下さってる様子に本人の思いがけない持ち味にただよるこぶ限りです。心身共に日々健康に過ごせていただきありがたく感謝の気持ちでいっぱいです。どうぞよろしく願いいたします。来年はコロナがおさまり我家にゆっくりもどって過ごせればと期待しています。よい年でありますよう祈りつつ。(85歳以上／男性／要介護5)
- 特養の数を増やしてほしい。できないなら、有料に入るための補助を多くしてほしい。(80~84歳／男性／要介護5)
- 現場スタッフの人手不足を感じる。要介護度が高く、帰宅が困難だとしても、スタッフの送迎がもっと気楽にできるようにしてほしい。一時的な帰宅で、たまには家族だけで食事等を楽しんでみたい。大病してから一度も帰宅できておらずで、このまま亡くなるまでずっと特養では、あまりにかわいそうなので、現場スタッフを増やして対応してもらいたい環境にして欲しい。(65~69歳／女性／要介護4)
- 習志野市は船橋市に比べ、特別養護老人ホームの数がとても少なく、待機人数が多いです。今回はたまたま、早く入居できましたが、自分たちの老後を考えるととても不安です。かといって特養でないところは値段が高く、自分の年金では足がでず、子供たちに負担がいってしまうことが、とても気がかりです。自分も介護職(デイサービス)をしていますが、デイはやはりかなりしっかりしている方が多く、もしも頭の方が進んだ場合、自宅+デイはなかなか難しいのではないかと感じています。もう少し特養の数が増えると、安心して年齢を重ねられると思います。(75~79歳／男性／要介護4)
- 専門的なケアが必要だったのに、施設がみつからず、遠くの有料施設に入って入所待ちをして1年近く、やっと遠方の市に入所できたのですが、自宅の近くに(習志野市)必要な時に入所できるようにしてほしいです。(80~84歳／女性／要介護4)
- ケアハウス、病院とそれぞれ、ケアマネージャー、相談員さんにはお世話になりました。皆さんとても親切に対応していただいたと感謝してます。厳しかったのはケアハウスから介護施設、病院から介護施設等に移る際、結局「家族が探さなくてはいけない(探して下さい)」とのことで、ずいぶんあちこち申込み、連絡を待ちました。(お金があれば、問題ないのでしょうか)窓口は想定どおり、「ケアマネさんと相談して下さい」。市民優遇のネットワークとか、出来たら良いと思います。(85歳以上／女性／要介護4)

第3章 一般若年者調査

1 年齢や性別などについて

(1) 年齢

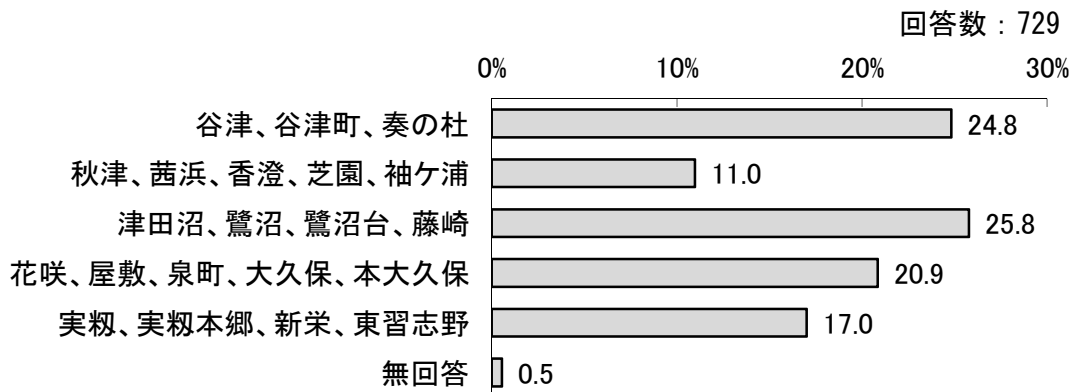
問1 あなたの年齢をお答えください。



○「50歳～54歳」が22.2%で最も多く、次いで「45歳～49歳」と「60歳～64歳」が21.4%で多くなっている。

(2) 居住地区

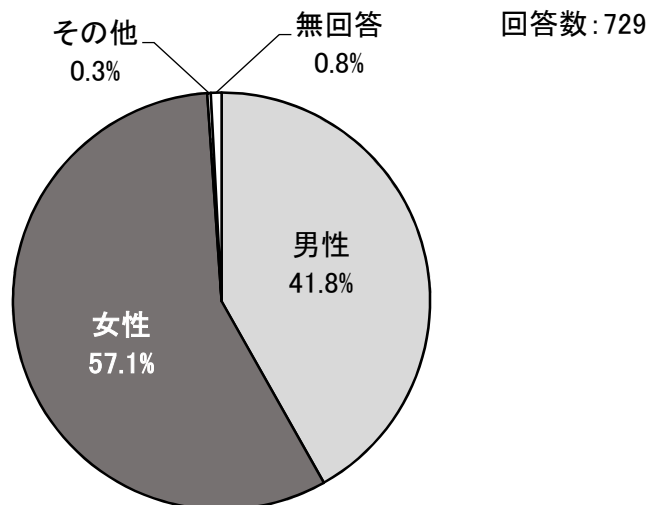
問2 お住まいの地区名をお答えください。



○「津田沼、鷺沼、鷺沼台、藤崎」が25.8%で最も多く、次いで「谷津、谷津町、奏の杜」が24.8%で多くなっている。

(3) 性別

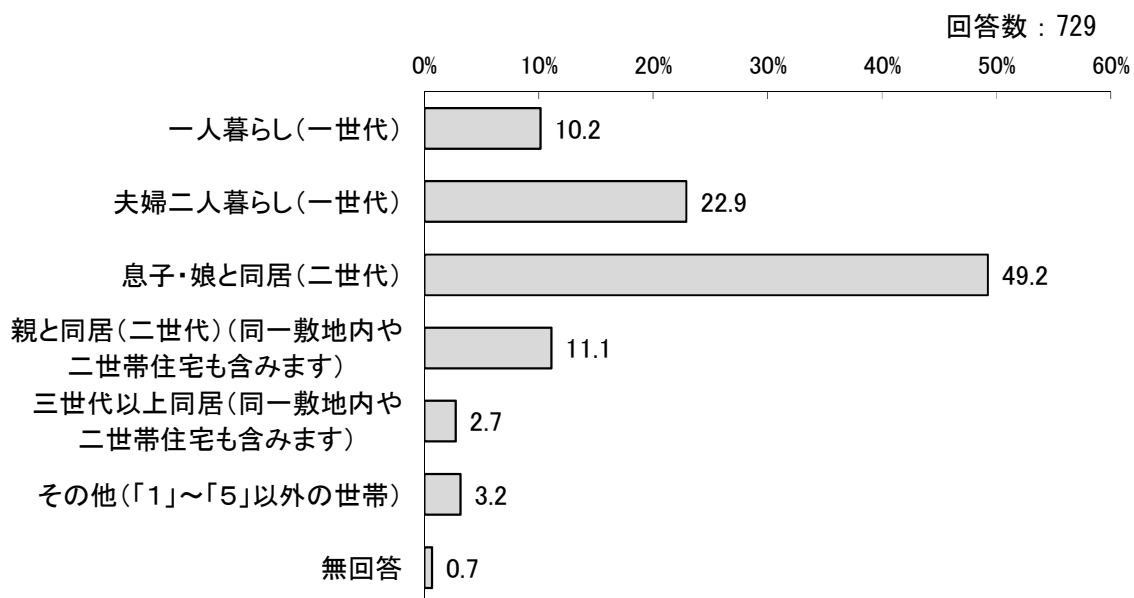
問3 あなたの性別をお答えください。



○「男性」が41.8%、「女性」が57.1%で、女性が多くなっている。

(4) 家族構成

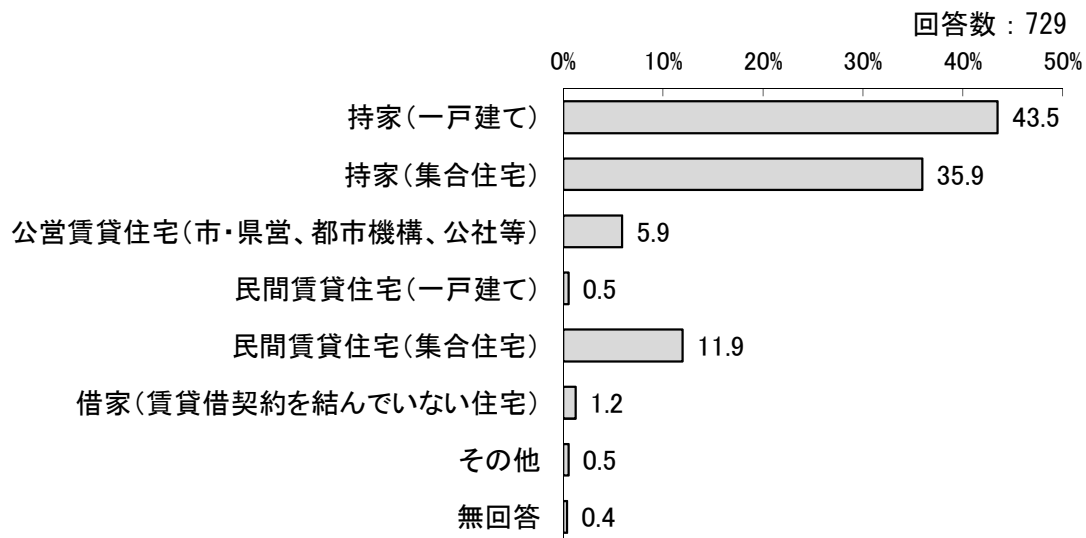
問4 家族構成をお教えてください。



○「息子・娘と同居(二世帯)」が49.2%と半数近くを占めて最も多く、次いで「夫婦二人暮らし(一世代)」が22.9%で多くなっている。

(5) 住居の形態

問5 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。



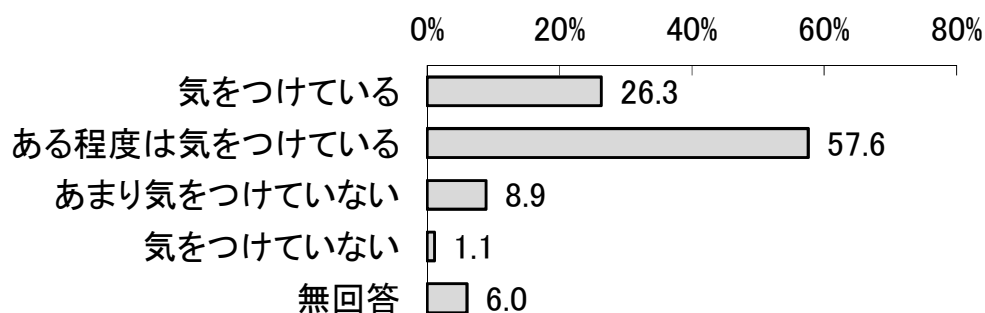
○「持ち家(一戸建て)」が43.5%で最も多く、次いで「持家(集合住宅)」が35.9%で多くなっている。

2 健康について

(1) 健康への配慮の状況

問6 あなたは、日頃、自分の健康に気をつけていますか。

回答数：729



○「ある程度は気をつけている」が57.6%で最も多く、次いで「気をつけている」が26.3%で多くなっている。両選択肢の回答割合の合計は83.9%となっている。

【性別、年齢別】

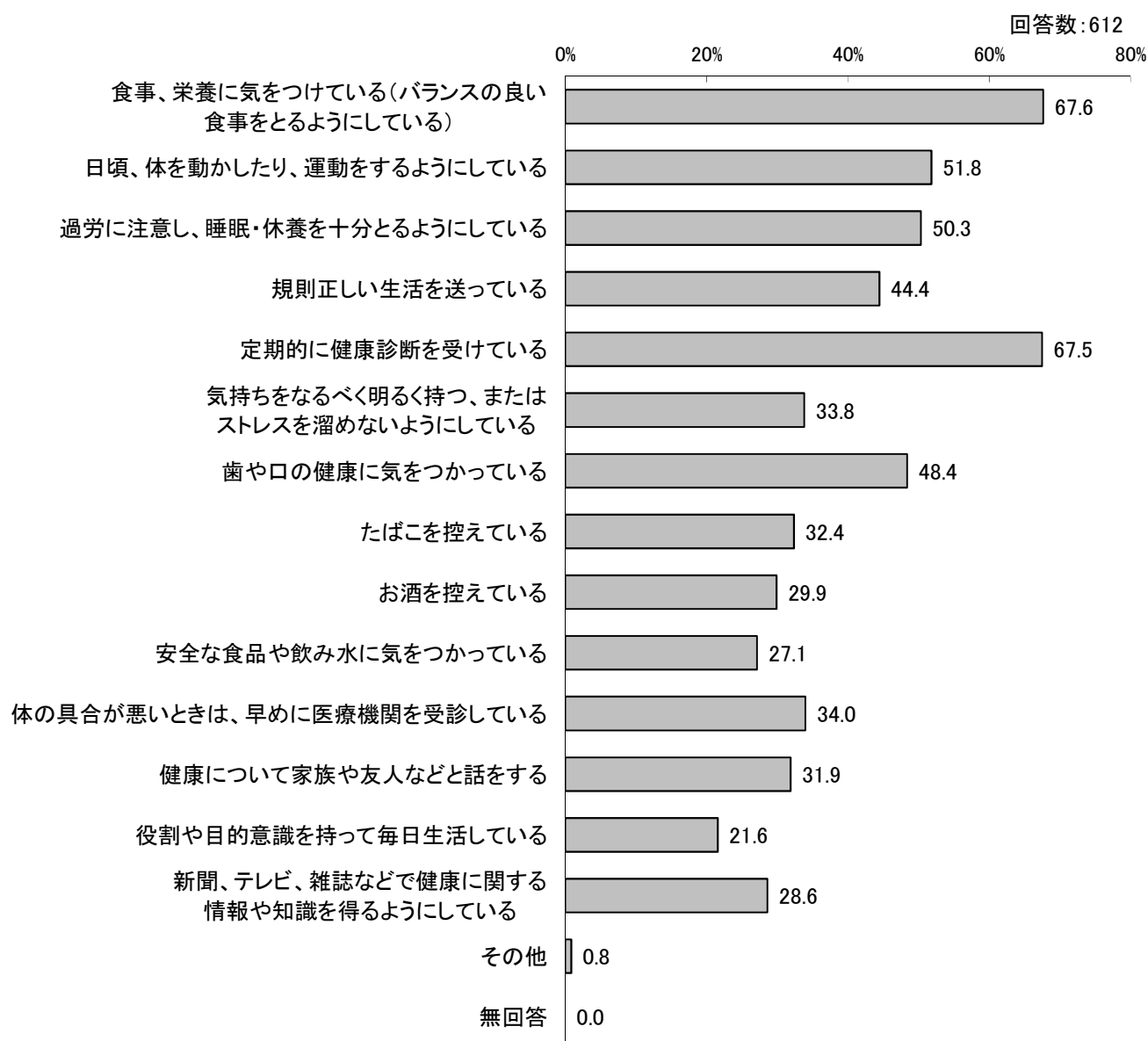
上段:回答数 下段:割合(%)	合計	気をつけている	ある程度は気をつけている	あまり気をつけていない	気をつけていない	無回答
全体	729 100.0	192 26.3	420 57.6	65 8.9	8 1.1	44 6.0
男性	305 100.0	80 26.2	167 54.8	30 9.8	6 2.0	22 7.2
女性	416 100.0	110 26.4	250 60.1	35 8.4	2 0.5	19 4.6
その他	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
40歳～44歳	122 100.0	29 23.8	70 57.4	16 13.1	1 0.8	6 4.9
45歳～49歳	156 100.0	32 20.5	95 60.9	20 12.8	3 1.9	6 3.8
50歳～54歳	162 100.0	47 29.0	83 51.2	10 6.2	3 1.9	19 11.7
55歳～59歳	129 100.0	31 24.0	85 65.9	7 5.4	1 0.8	5 3.9
60歳～64歳	156 100.0	51 32.7	86 55.1	12 7.7	0 0.0	7 4.5

○性別では、「気をつけている」と「ある程度は気をつけている」を合わせた割合は男性が81.0%、女性が86.5%と女性が5.5ポイント多くなっている。

年齢別では、40～59歳と比較して、60～64歳で「気をつけている」が32.7%と比較的多くっており、3割台を占めている。

(2) 健康のため実行していること

問6-1 (健康に気をつけている、またはある程度は気をつけている方のみ)
何か実行していることがありますか。(○はいくつでも)



○「食事、栄養に気をつけている(バランスの良い食事をとるようにしている)」が 67.6%、「定期的に健康診断を受けている」が 67.5%で多くなっている。

【性別、年齢別 健康のため実施していること】

上段:回答数 下段:割合(%)	合計	食事 栄養に気を付けている バランスの良い食事をとるように している	日頃 体を動かしたり 運動をす るようになっている	過労に注意し、睡眠 休養を十分 とるようにしている	規則正しい生活を送っている	定期的に健康診断を受けている	気持ちにならなく明るく持つ、ま たはストレスを溜めないようにし ている	歯や口の健康に気をうかっている	たばこを控えている
全体	612 100.0	414 67.6	317 51.8	308 50.3	272 44.4	413 67.5	207 33.8	296 48.4	198 32.4
男性	247 100.0	153 61.9	139 56.3	110 44.5	90 36.4	173 70.0	72 29.1	100 40.5	70 28.3
女性	360 100.0	259 71.9	175 48.6	197 54.7	180 50.0	238 66.1	133 36.9	194 53.9	126 35.0
その他	2 100.0	1 50.0	2 100.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0
40歳～44歳	99 100.0	63 63.6	46 46.5	56 56.6	39 39.4	57 57.6	35 35.4	42 42.4	31 31.3
45歳～49歳	127 100.0	79 62.2	66 52.0	55 43.3	49 38.6	76 59.8	39 30.7	58 45.7	42 33.1
50歳～54歳	130 100.0	92 70.8	69 53.1	70 53.8	58 44.6	93 71.5	48 36.9	68 52.3	42 32.3
55歳～59歳	116 100.0	85 73.3	60 51.7	60 51.7	56 48.3	85 73.3	33 28.4	62 53.4	38 32.8
60歳～64歳	137 100.0	95 69.3	74 54.0	65 47.4	68 49.6	100 73.0	51 37.2	64 46.7	45 32.8

上段:回答数 下段:割合(%)	合計	お酒を控えている	安全な食品や飲み水に気をつけ ている	体の具合が悪いときは、早めに 医療機関を受診している	健康について家族や友人などと 話をする	役割や目的意識を持って毎日生 活している	新聞 テレビ 雑誌などで健康 に関する情報や知識を得るよ うにしている	その他	無回答
全体	612 100.0	183 29.9	166 27.1	208 34.0	195 31.9	132 21.6	175 28.6	5 0.8	0 0.0
男性	247 100.0	66 26.7	46 18.6	75 30.4	49 19.8	37 15.0	46 18.6	0 0.0	0 0.0
女性	360 100.0	115 31.9	119 33.1	132 36.7	145 40.3	93 25.8	129 35.8	5 1.4	0 0.0
その他	2 100.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
40歳～44歳	99 100.0	183 29.9	166 27.1	208 34.0	195 31.9	132 21.6	175 28.6	5 0.8	0 0.0
45歳～49歳	127 100.0	66 26.7	46 18.6	75 30.4	49 19.8	37 15.0	46 18.6	0 0.0	0 0.0
50歳～54歳	130 100.0	115 31.9	119 33.1	132 36.7	145 40.3	93 25.8	129 35.8	5 1.4	0 0.0
55歳～59歳	116 100.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
60歳～64歳	137 100.0	183 29.9	166 27.1	208 34.0	195 31.9	132 21.6	175 28.6	5 0.8	0 0.0

○性別では、ほとんどの回答で女性が男性を上回っているが、特に「健康について家族や友人などと話をする」、「新聞、テレビ、雑誌などで健康に関する情報や知識を得るようにしている」、「安全な食品や飲み水に気をつけている」でその差が大きくなっている。

年齢別では、いずれの年代でも「食事、栄養に気をつけている（バランスの良い食事をとるようにしている）」や「定期的に健康診断を受けている」が多くなっている。

【経年比較】①

(単位%)

	食事、栄養に気をつけている バランスの良い食事をとるようにしている	日頃、体を動かしたり、運動をするようにしている	過労に注意し、睡眠、休養を十分とるようにしている	規則正しい生活を送っている	定期的に健康診断を受けている	気持ちをなやめ、明るく持つ、またはストレスを溜めないようにしている	歯や口の健康に気をつけている	たばこを控えている
令和4年度調査 (回答数:612)	67.6	51.8	50.3	44.4	67.5	33.8	48.4	32.4
令和元年度調査 (回答数:513)	69.6	47.2	44.6	40.7	66.7	31.6	40.0	28.7

【経年比較】②

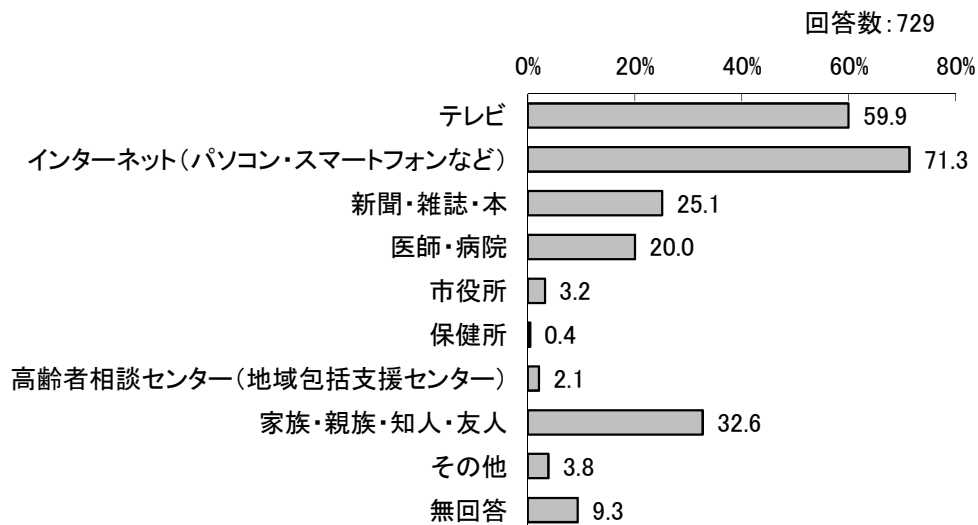
(単位%)

	お酒を控えている	安全な食品や飲み水に気をつけている	体の具合が悪いときは、早めに医療機関を受診している	健康について家族や友人などと話をしている	役割や目的意識を持って毎日生活している	新聞、テレビ、雑誌などで健康に関する情報や知識を得るようにしている	その他	無回答
令和4年度調査 (回答数:612)	29.9	27.1	34.0	31.9	21.6	28.6	0.8	0.0
令和元年度調査 (回答数:513)	20.7	25.0	34.7	33.1	21.1	34.9	1.8	0.8

○前回調査時と比較すると、「お酒を控えている」、「歯や口の健康に気をつけている」との回答が順に 9.2 ポイント、8.4 ポイント増加している。

(3) 情報の入手

問7 医療や介護についての知識や情報を、何から得ていますか。(〇はいくつでも)

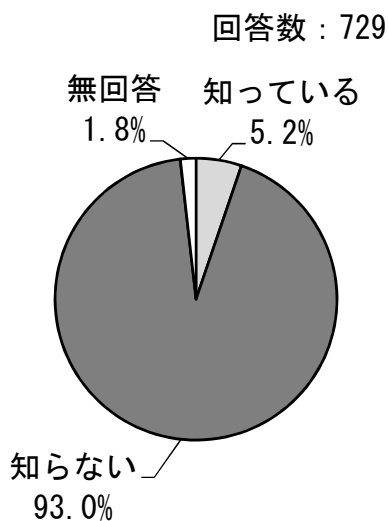


○「インターネット(パソコン・スマートフォンなど)」が 71.3%で最も多く、次いで「テレビ」が 59.9%で多くなっている。

(4) 用語「ACP」の認知状況

問8 人生会議またはアドバンス・ケア・プランニング(ACP)※という言葉を知っていますか。

※もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて前もって考え、家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取組のこと



○「知らない」が 93.0%で多く、「知っている」は 5.2%となっている。

(5) 用語「ACP」を知った場所

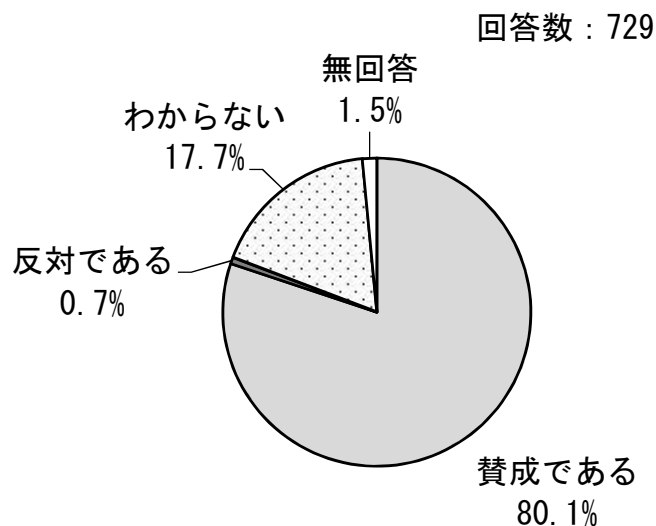
問8-1 (ACPを「知っている」方のみ)
ACPという言葉はどこで知りましたか。

	回答数	%
テレビ・新聞・インターネット	20	52.6
雑誌・本	4	10.5
医師・病院	4	10.5
市役所	0	0.0
保健所	0	0.0
高齢者相談センター(地域包括支援センター)	1	2.6
家族・親族・友人・知人	5	13.2
その他	4	10.5
無回答	0	0.0
全体	38	100.0

○「テレビ・新聞・インターネット」が38人中20人・52.6%と最も多く、次いで「家族・親族・友人・知人」が38人中5人・13.2%などとなっている。

(6) 話し合いの推進についての意見

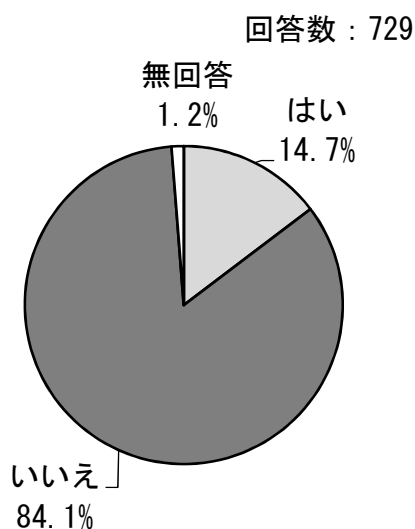
問9 人生の最終段階の医療・療養について、あなたの意思に沿った医療・療養を受けるためには、家族等や医療・ケアチームとあらかじめ話し合い、また繰り返し話し合うことが重要と言われています。このような話し合いを進めることについて、あなたはどのように思いますか。



○「賛成である」が80.1%で多く、「反対である」は0.7%となっている。

(7) 認知症状のある人の有無（本人・家族）

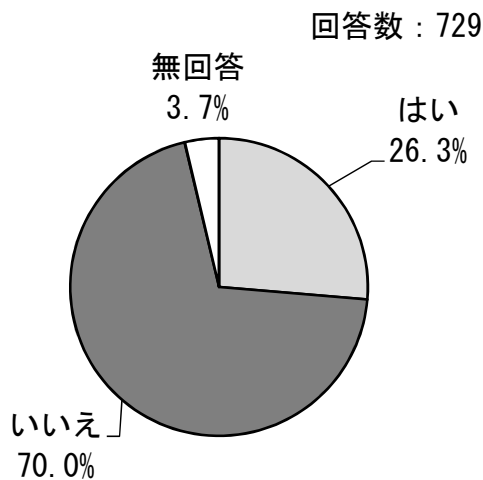
問10 認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか。



○「はい」は26.3%、「いいえ」が70.0%などとなっている。

(8) 認知症相談窓口の認知状況

問 11 認知症に関する相談窓口を知っていますか。

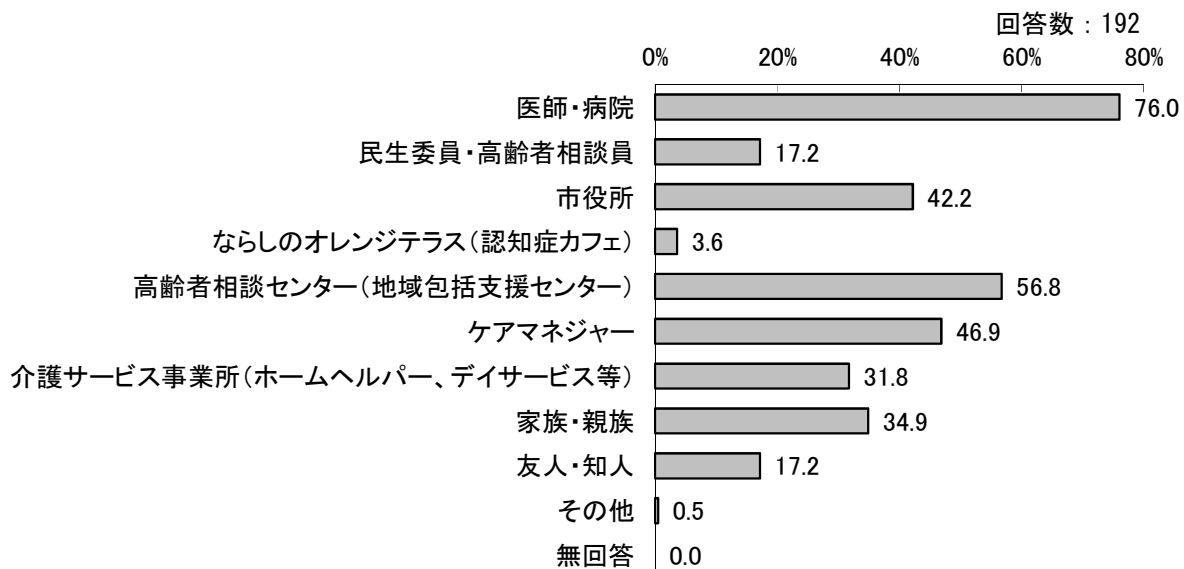


○「いいえ」が70.0%で多く、「はい」は26.3%となっている。

(9) 認知症に関する相談先

問 11-1 (認知症に関する相談窓口を知っている方のみ)

どこに相談すると思いますか、または相談しましたか。(○はいくつでも)



○「医師・病院」が76.0%で最も多く、「高齢者相談センター(地域包括支援センター)」56.8%、「ケアマネジャー」46.9%、「市役所」42.2%が続いている。

【年齢別 認知症に関する相談先】

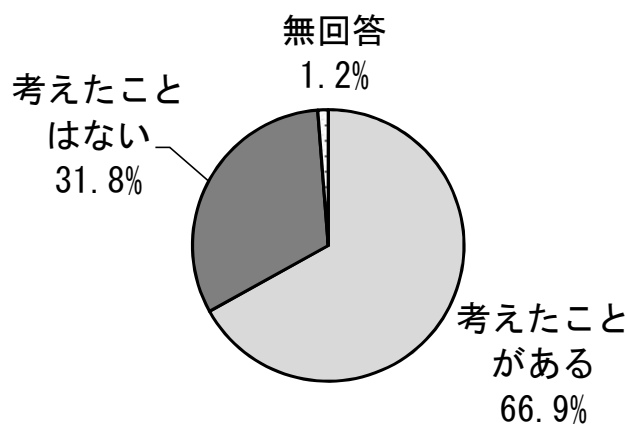
上段:回答数 下段:割合(%)	合計	医師 病院	民生委員 高齢者相談員	市役所	ならしのオレンジテラス カフエ	高齢者相談センター 地域包括 支援センター	ケアマネジャー	介護サービス事業所 ホームヘル パー、デイサービス等	家族 親族	友人 知人	その他	無回答
全体	192 100.0	146 76.0	33 17.2	81 42.2	7 3.6	109 56.8	90 46.9	61 31.8	67 34.9	33 17.2	1 0.5	0 0.0
40歳～44歳	27 100.0	20 71.4	7 25.0	11 39.3	1 3.6	16 57.1	19 67.9	10 35.7	15 53.6	8 28.6	0 0.0	0 0.0
45歳～49歳	28 100.0	32 84.2	6 15.8	14 36.8	1 2.6	23 60.5	22 57.9	17 44.7	11 28.9	5 13.2	0 0.0	0 0.0
50歳～54歳	38 100.0	35 79.5	6 13.6	21 47.7	1 2.3	22 50.0	19 43.2	14 31.8	13 29.5	10 22.7	1 2.3	0 0.0
55歳～59歳	44 100.0	41 74.5	7 12.7	23 41.8	2 3.6	34 61.8	23 41.8	15 27.3	20 36.4	6 10.9	0 0.0	0 0.0
60歳～64歳	55 100.0	18 66.7	7 25.9	12 44.4	2 7.4	14 51.9	7 25.9	5 18.5	8 29.6	4 14.8	0 0.0	0 0.0

○年齢別では、いずれの年齢も「医師・病院」が最も多くなっている。「高齢者相談センター（地域包括支援センター）」は、いずれの年齢も5割以上を占めており、「45歳～49歳」以上では次いで多くなっている。「40歳～44歳」では次いで多くなっているのが「ケアマネジャー」で67.9%となっている。

(10) 認知症になったときについて

問 12 今までに、自分自身や家族が認知症になったときどうしたらいいのか、考えたことがありますか。

回答数：729



○「考えたことがある」が66.9%で多く、「考えたことはない」は31.8%となっている。

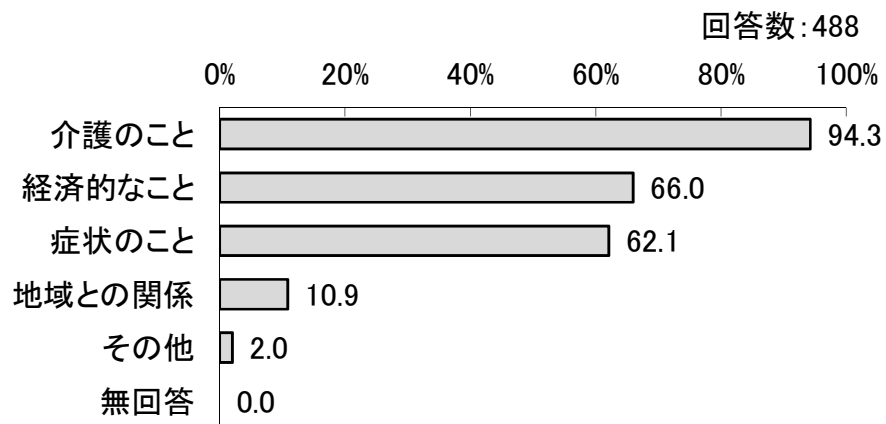
【性別・年齢別 認知症について考えたことがあるか】

上段:回答数 下段:割合(%)	合計	考えたことがある	考えたことはない	無回答
全体	729 100.0	488 66.9	232 31.8	9 1.2
男性	305 100.0	178 58.4	125 41.0	2 0.7
女性	416 100.0	305 73.3	106 25.5	5 1.2
40歳～44歳	122 100.0	79 64.8	41 33.6	2 1.6
45歳～49歳	156 100.0	95 60.9	59 37.8	2 1.3
50歳～54歳	162 100.0	104 64.2	58 35.8	0 0.0
55歳～59歳	129 100.0	94 72.9	33 25.6	2 1.6
60歳～64歳	156 100.0	113 72.4	40 25.6	3 1.9

○「考えたことがある」は「女性」が「男性」を14.9ポイント上回り、それぞれ73.3%、58.4%となっている。年齢別では、「考えたことがある」は54歳以下が6割、55歳以上が7割を占めている。

(11) 認知症になったときについて考えたこと

問12-1 (認知症について考えたことがある方のみ)
どのようなことを考えましたか。(○はいくつでも)

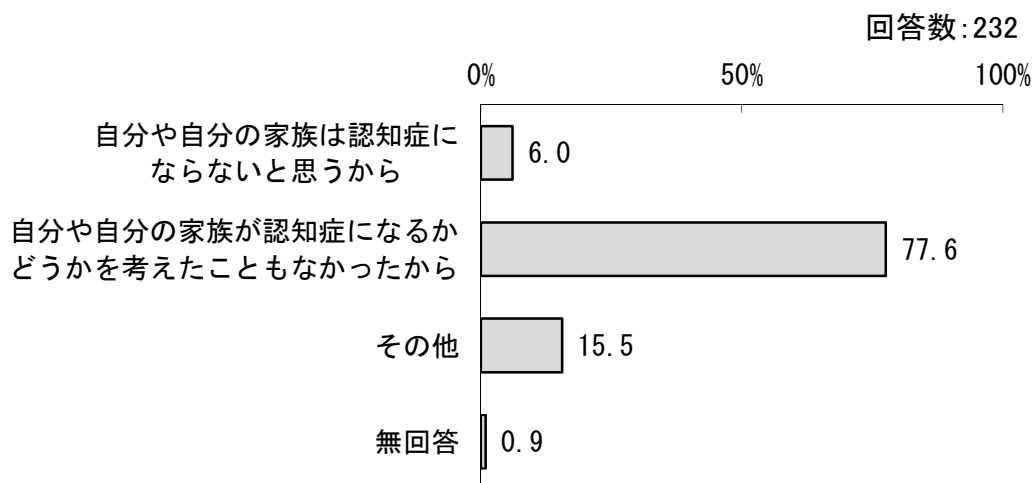


○「介護のこと」が94.3%で最も多く、「経済的なこと」66.0%、「症状のこと」62.1%が続いている。

(12) 認知症になったときについて

問 12-2 (認知症について考えたことがない方のみ)

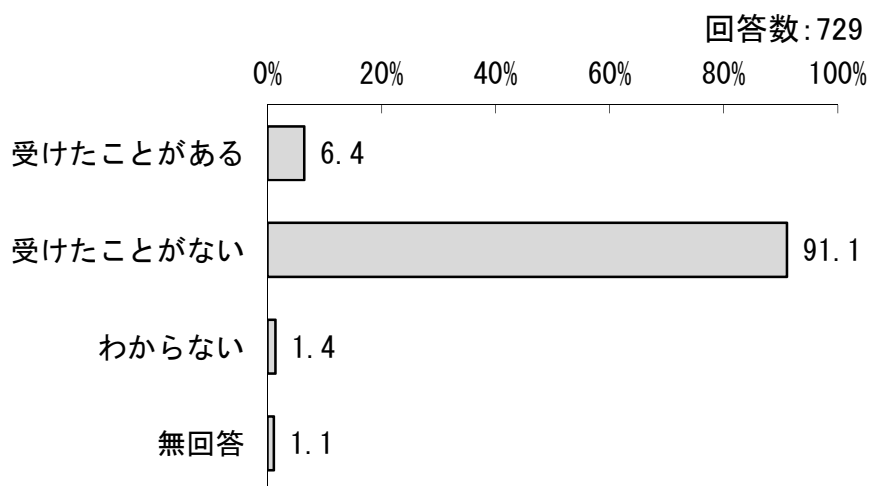
考えたことがなかった理由は何だと思えますか。



○「自分や自分の家族が認知症になるかどうかを考えたこともなかったから」が77.6%で多くなっている。

(13) 「認知症サポーター養成講座」受講の有無

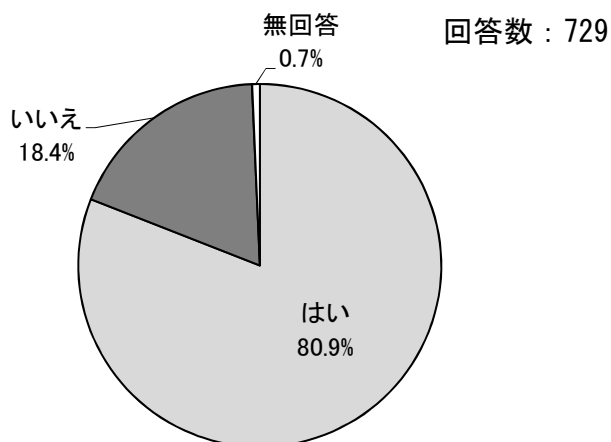
問 13 認知症サポーター養成講座を受けたことがありますか。



○「受けたことがない」が91.1%で最も多く、「受けたことがある」は6.4%となっている。

(14) 1年以内の健康診査受診について

問 14 あなたは、1年以内に健康診査（特定健康診査、人間ドック、職場の健診等）を受けましたか。



○「はい」が80.9%、「いいえ」は18.4%となっている。

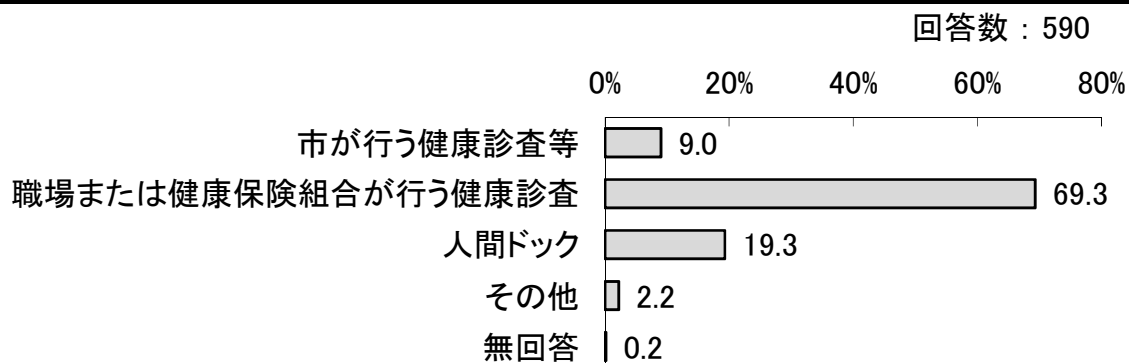
【性別 1年以内の健康診査受診の有無】

上段:回答数 下段:割合(%)	合計	はい	いいえ	無回答
全体	729	590	134	5
	100.0	80.9	18.4	0.7
男性	305	267	36	2
	100.0	87.5	11.8	0.7
女性	416	318	97	1
	100.0	76.4	23.3	0.2
その他	2	1	1	0
	100.0	50.0	50.0	0.0

○性別では、「はい」は「男性」が87.5%、「女性」が76.4%で、「男性」が「女性」を11.1ポイント上回っている。

(15) 健康診査を受けた場所

問 14-1 (健康診査を受けた方のみ)
どちらで健康診査を受けましたか。



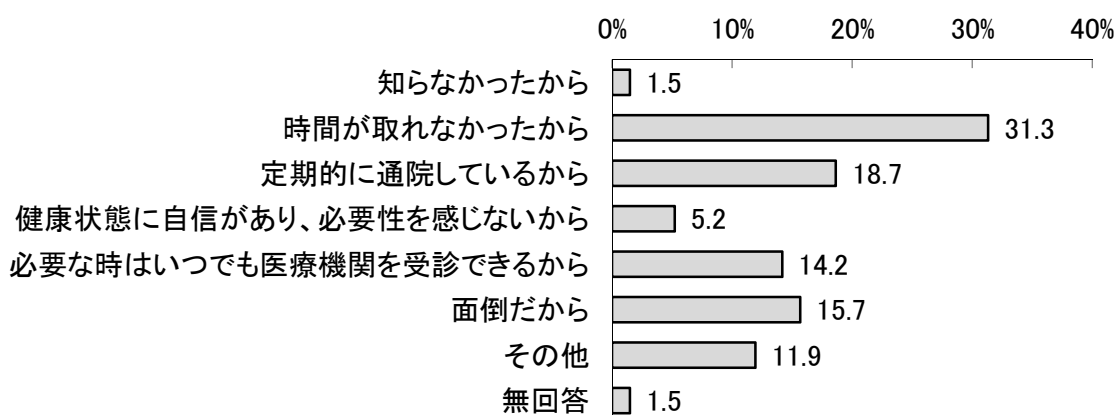
○「職場または健康保険組合が行う健康診査」が69.3%で最も多く、次いで「人間ドック」が19.3%で多くなっている。

(16) 健康診査を受けなかった理由

問 14-2 (健康診査を受けなかった方のみ)

健康診査を受けなかった理由は何ですか。

回答数：134



○「時間が取れなかったから」が 31.3%で最も多く、次いで「定期的に通院しているから」が 18.7%、「面倒だから」が 15.7%となっている。

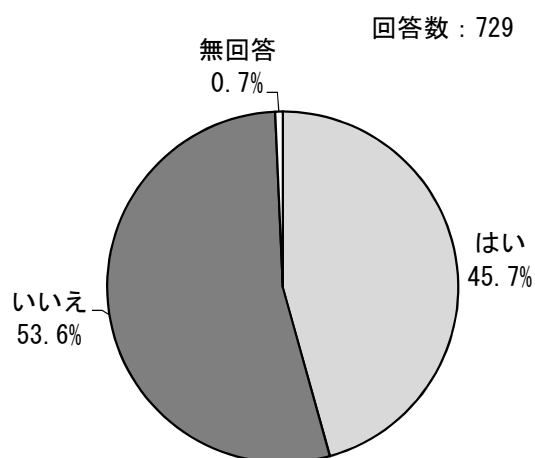
【性別・年齢別 健康診査を受けなかった理由】

上段：回答数 下段：割合 (%)	合計	知らな かった から	時間 が 取れ な か つ た か ら	定期 的 に 通 院 し て い る か ら	健康 状 態 に 自 信 が あ り、 必 要 性 を 感 じ な い か ら	必要 な 時 は い つ で も 医 療 機 関 を 受 診 で き る か ら	面倒 だ か ら	その他	無回答
全体	134 100.0	2 1.5	42 31.3	25 18.7	7 5.2	19 14.2	21 15.7	16 11.9	2 1.5
男性	36 100.0	1 2.8	10 27.8	10 27.8	3 8.3	2 5.6	6 16.7	3 8.3	1 2.8
女性	97 100.0	1 1.0	31 32.0	15 15.5	4 4.1	17 17.5	15 15.5	13 13.4	1 1.0
40歳～44歳	26 100.0	0 0.0	13 50.0	1 3.8	4 15.4	3 11.5	3 11.5	2 7.7	0 0.0
45歳～49歳	35 100.0	0 0.0	12 34.3	4 11.4	0 0.0	5 14.3	6 17.1	8 22.9	0 0.0
50歳～54歳	32 100.0	1 3.1	11 34.4	3 9.4	0 0.0	7 21.9	6 18.8	3 9.4	1 3.1
55歳～59歳	14 100.0	1 7.1	3 21.4	4 28.6	1 7.1	1 7.1	2 14.3	2 14.3	0 0.0
60歳～64歳	27 100.0	0 0.0	3 11.1	13 48.1	2 7.4	3 11.1	4 14.8	1 3.7	1 3.7

○「男性」「女性」では「時間が取れなかったから」が最も多く、それぞれ27.8%、32.0%となっている。「男性」では「定期的に通院しているから」が同率で多くなっている。年齢別では、「40歳～44歳」「45歳～49歳」「50歳～54歳」では「時間が取れなかったから」が、「55歳～59歳」「60～64歳」では「定期的に通院しているから」が最も多くなっている。

(17) 1年以内のがん検診受診について

問 15 あなたは、1年以内にごがん検診を受けましたか。



○「いいえ」が53.6%で多く、「はい」は45.7%となっている。

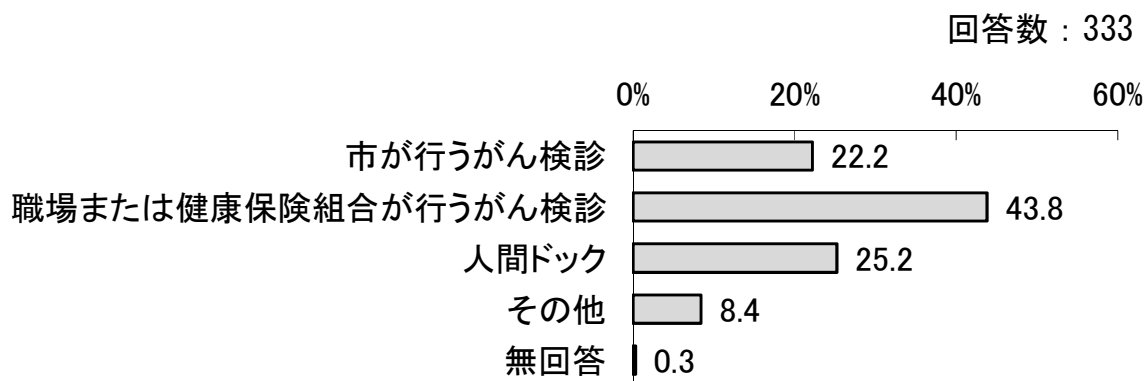
上段:回答数 下段:割合 (%)	合計	はい	いいえ	無回答
全体	729	333	391	5
	100.0	45.7	53.6	0.7
男性	305	107	196	2
	100.0	35.1	64.3	0.7
女性	416	222	193	1
	100.0	53.4	46.4	0.2
その他	2	1	1	0
	100.0	50.0	50.0	0.0

○性別では、「はい」は「男性」が35.1%、「女性」が53.4%で、「女性」が「男性」を18.3ポイント上回っている。

(18) がん検診を受けた場所

問 15-1 (がん検診を受けた方のみ)

どちらでがん検診を受けましたか。

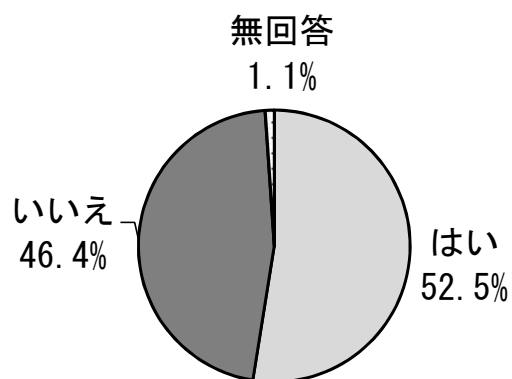


○「職場または健康保険組合が行うがん検診」が43.8%で最も多く、次いで「人間ドック」が25.2%で多くなっている。

(19) 1年以内の歯科健康診査受診について

問 16 あなたは、1年以内に歯科健康診査を受けましたか。

回答数 : 729



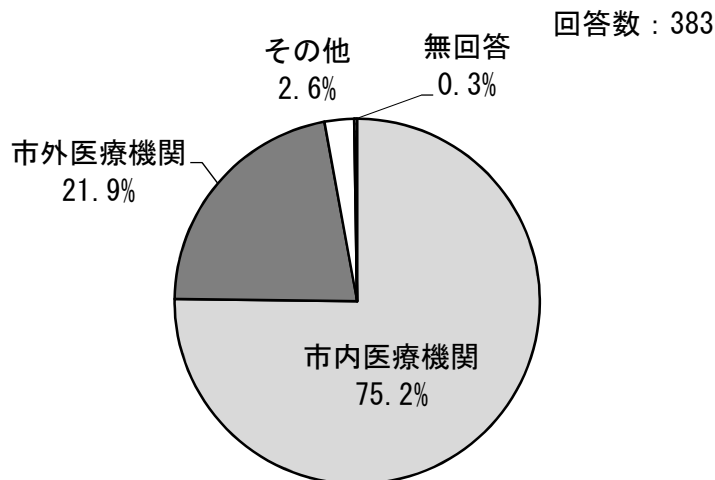
○「はい」が52.5%で多く、「いいえ」は46.4%となっている。

上段:回答数 下段:割合(%)	合計	はい	いいえ	無回答
全体	729	383	338	8
	100.0	52.5	46.4	1.1
男性	305	145	157	3
	100.0	47.5	51.5	1.0
女性	416	234	179	3
	100.0	56.3	43.0	0.7
その他	2	2	0	0
	100.0	100.0	0.0	0.0

○性別では、「はい」は「男性」が52.5%、「女性」が46.4%で、「男性」が「女性」を6.1ポイント上回っている。

(20) 歯科健康診査を受けた場所・機関

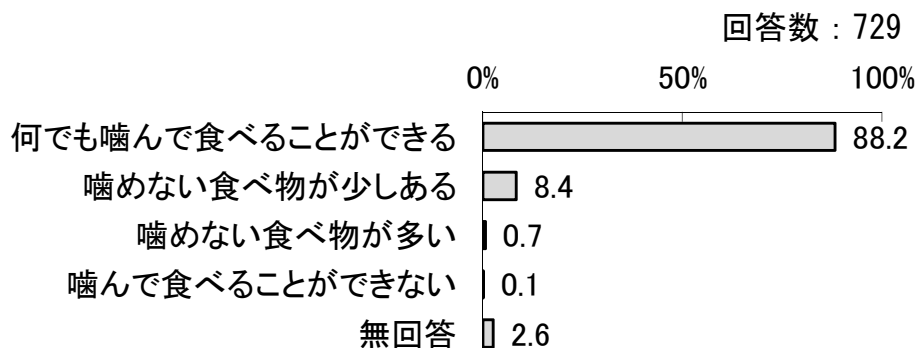
問 16-1 歯科健康診査を受けた方のみ)
 どちらで歯科健康診査を受けましたか。



○「市内医療機関」が75.2%で最も多く、次いで「市外医療機関」が21.9%で多くなっている。

(21) ものを噛んで食べる時の状態

問 17 あなたは、ものを噛んで食べる時、どのような状態ですか。(※入れ歯を使っても結構です。)



○「何でも噛んで食べることができる」が88.2%で最も多く、次いで「噛めない食べ物が少しある」が8.4%で多くなっている。

【経年比較】

(単位 : %)

	何でも噛んで食べることができる	噛めない食べ物が少しある	噛めない食べ物が多い	噛んで食べることができない	無回答
令和4年度調査 (総数 729)	88.2	8.4	0.7	0.1	2.6
令和元年度調査 (総数 592)	89.9	7.1	0.7	0.2	2.2

○前回調査と比較し、大きな変化は見られない。